

2023/08/02 開催 いけんひろば～若者と食の今後について考える！～
対面開催回 いけんのまとめ

※発言の撤回があったため、一部発言を削除しております。

1 班（中学 2 年生、高校 1 年生、高校 3 年生／3 名）

【テーマ②（農業者の人口減少）】

○農業に関する自身の経験について

- 北海道在住時、同級生に農業や酪農を営む家庭の子がおり、彼らの中には家業を継ぎたくない人もいた。農業や酪農について内側から見ているからこそ、良い面/悪い面を知っているからだと思う。長期間の休みを取ることができないため、家族旅行の時間を用意できないことに対する不満があると聞いた。1 日休むだけで、天候の影響などにより作物の状況が変わってしまう点が難しい。実家が農業関係者でなくても「農業をやりたい人がやる」で良いと思うが、農家の家庭においては農家の子どもゆえの悩みがあり、それらが解決されていない現状があると感じた。
- 愛媛県のみかん農家に訪れたことがある。休みを取ることにはできるが、その地域が過疎地域であり、みかん農家が高齢者しかいないという現状を見た。若い人がいても移住者であることが多い。そして、そもそも移住者自体の数が少ない。自分たちの代で終わりにしようという農家が多かった。みかんが流通しなくなる日が来るかもしれないと危機感を持った。
- みかんは海外にあるのか気になる。日本だけのものならば、なおさら問題だと思う。みかんがなくなることは結構ショックである。
- 小学生の時、お米を作る授業があった。お米が余っていると聞いたため、多く作る必要はないと当時は感じた。しかし、世界情勢によって、小麦の生産国からの輸入が難しくなっているため、洋食よりも和食を増やすなどしながら、日本の食料自給率を高くした方が良いと感じた。
- 逆にお米が余らない、なくなってしまう状態も良くないと思う。お米は、なくなることも、余り過ぎていることも困る。
- もしも小麦等が輸入されなくなったら、私たちが炭水化物を摂取する方法はお米しかない。余り過ぎてもおかしいが、余っていないのも不安である。

○農業をやってみたいと思うかについて

- 農業をやりたいと思っている。その理由は、①実際にみかん農家を訪れた際、余っているみかんを食べられておいしかったから、と②出荷できないみかんが多数あるという現状を知ったから、である。食べられるのに出荷できないという現状を根本的に変えたい。
- やってみたいというよりは、必要不可欠な職業だと思う。輸入だけになってしまうと、何かあった際に不安になってしまう。それだけ大切な職業なので誇りある仕事だと感じている。

- 兼業農家や副業を行う農家があるように、今では農業だけに重点を置くのは難しいのだろうと感じる。気象条件に左右され、それこそ「今年は収穫がありません」となった際に生活ができなくなってしまうので、リスクの高い職業だと感じる。

○農業を始めにくい理由について

- リターンが確定しているものには初期投資をして始めやすいが、必ずしもお金が入ってくるのか分からない農業を始めることは難しいと感じる。農業で儲けなかった時に、国が補償金を出してくれたり、お金を貸してくれたりする仕組みがあれば、農業を始めてみようと思うかもしれない。
- テレビなどで、不作になってしまっていてどうしようと悩んでいる農家の方を見たことがある。頑張っているのに、救う仕組みがなくかわいそうだと思う。
- お金の問題だけでなく、気持ちの問題もあると思う。頑張って作っても、形が悪かったり、不作だったりすることで、嫌だなという気持ちになると思う。

○農業者を増やすための新しい仕組みについて

- 授業で習ったが、複数の農家を会社化し、給料制にする仕組みが良いと思う。ただ、まだその仕組みは定着していない印象である。
- 以前訪れた愛媛県では、10 世帯程度が会社として農業を行っていた。しかし、収入自体は不安であり、兼業をしている人もいた。
- 福利厚生がしっかりしていれば、働きたいと思うのではないかなと思う。個人で農業を行うことはリスクが大きい。
- 農業を始めやすくできれば、新規参加者が増えると思う。トラクターや殺虫剤をまくドローンなど高額な機械を複数人で使うことにすれば、農業を始めやすいと思う。この仕組みを農業組合などが支持できればいいと思う。
- 愛媛県には、若い農業者を増やすために、県がお金を出して数年間若者に農業に従事してもらう制度がある。最初は安定して農業に取り組むことができ、その後続けるか否かは本人が決めることができる。このような制度がもっとあれば、農業を始める人が増えると思う。始めたら、一生辞められないというイメージが農業にはある。
- 祖母は、貸し出された土地で農業をしている。農地の貸出制度は、「身体を動かしたい」、「自然と触れ合いたい」と考えている人にとっても、とても良い仕組みだと思う。そのような場所で祖母が農業をしていることで、孫の自分も農業に興味を持てた。農業を仕事にしようとしている人だけでなく、自宅で食べる分だけ生産したいと考えている人などにとっても、農業を始めるハードルが下がると思う。小さな農地なのでトラクターなどは必要なく、育てられる食物は限られるかもしれないが、野菜などを育てられる。

- オールレンタルで出来る農業が良いなと思う。
- 農家も、サラリーマンと同じように1日8時間勤務のように働くことができたと思う。週休2日制で、給料が安定していることが大切だと思う。
- サラリーマンのような休み体制や給料体制にする場合は、結局助け合う必要性が出てくるので、個人ではなく会社のような形にする必要があると思う。
- 個人でやるというのが農業のハードルを高くしている気がする。誰にも助けを求められない状況だと、一度始めると後戻りできない。何人かでチームを組んで始めるのが良いかもしれない。
- 農業はチーム制の方が良いからこそ、“継ぐ”という考えになるのだと思う。自分の親やその親も農業をやっている状況だと、家族が助けてくれる。しかし、両親がサラリーマンなのに自分が急に農家になったとしても、誰からのサポートも得られなさそうで難しいと思う。
- 国が農家をランク付けする仕組みを作るのはどうか。レストランに星を付けるようなイメージで、良い農作物は高い値段で売れるという仕組みがあれば良いと思った。

○日本の農作物の形について

- 購入者全員が、「農作物は形が悪くても問題ない」と思っていれば、こんなに綺麗な形の農作物だけが売られていない。形を気にする人がいるからこそ、綺麗な形だけになるのだと思う。
- なぜ形が悪い農作物だけを集めて安く売らなければならないのかよくわからない。味が一緒なのに、なぜ見た目だけで値段がついてしまうのか。
- 綺麗な見た目の農作物を手にとってしまうのは理解できるが、それを理由に、形が悪いものを売らない方が良くないと思う。
- 農作物の中に菌や虫が入っていたらと思うと、衛生的に目に見えるものだけを頼りに綺麗な形のものを選んでしまうことはあると思う。

○農作物の生産者と消費者の繋がりについて

- 農協に行くと、農作物の生産者の名前が書いてある。母は、誰が育てた野菜が好き、などと選んで購入している。これは個人が好んでやっているだけだが、頑張って美味しい農作物を作ったら、それだけ収入がきちんと増える仕組みがあると良いと思う。農協などに行かない限り、スーパーでは生産者の名前が分からないことが多い。
- 自分が買っている農作物の生産者に意識を向けるためにはどうすれば良いかについてだが、ラベルに生産者の名前の記載があれば、気になって見る。その生産者や農園がHPをもっていれば、確認すると思う。それが農業に興味を持つきっかけに

なるのではないか。

- 農業に関わるきっかけが少ないと感じる。スーパーが農作物に生産者の名前を書いてくれるだけでも、変わってくると思う。
- スーパーの地産地消コーナーで、農作物に生産者の顔写真が貼ってあるものを見かけたことがある。それだけでも親近感がわく。
- 家で作る料理ならばまだしも、特に外食では、食べるまでの農作物のプロセスに目を向けることがない。例えば、ファストフード店のフライドポテトのじゃがいもがどのように生産されているのかは、考えたこともない。家でフライドポテトを作る場合は、どこ産のじゃがいもを使っているかおいしいなと考えることができる。家で料理する際には、買う過程から行っているため、特に意識しやすいのだと思う。
- 外食が増えているため、特に農作物の生産の過程に関心がいなくなっている気がする。
- あるファストフード店では、どの都道府県で生産された野菜か分かるような記載がされている。
- 「国産」より「〇〇県産」と記載した方がより親近感を持てる。
- 消費者と農家をリンクできる仕組みがあれば良いと思う。例えば、調理済みの料理を食べて、その中の玉ねぎがおいしいと思った時に、どこの農家で作られた玉ねぎなのかを知ることができる仕組みがあれば、利用する人はいると思う。
- 多数の店舗を持つファストフード店だと、どこの農家から仕入れた農作物なのか把握できていない可能性があると思う。ただ、「フライドポテトに使用しているじゃがいもの生産者一覧」として、ば一つと農家の名前を書いてくれるだけでも良いと思う。

○農作物の生産者に対する偏見について

- 生産者に対する偏見も多いと思う。どこどこの国で作ったものより、国産の方が安全である、この農作物ならば〇〇県産の方がおいしいそう、などの偏見に基づいて農作物を買うようになってしまう気がする。
- 安心できるように生産者を明記しているのに、生産者の名前で選別され、こちらの農作物の方が売れない、などの状況ができてしまえば元も子もないと思う。
- 偏見は、過去のニュースなど、間違った情報をもとに生まれてしまうことも多い。
- 生まれ育った環境が偏見に影響することも多いと思うため、低学年の頃から、色々な考え方を教えることで、誤った認識を変えることができるかもしれない。

【テーマ③（農業・食品産業の環境対応）】

○プラスチック製品の減少について

- プラスチックストローから紙ストローに変わったことが、どれくらい環境に良い

影響をもたらしているのかがよくわかっていない。紙を作る過程でも CO2 は排出されている。ただ、CO2 の排出量が少なくなったという情報をテレビなどで聞いて、そうなのかと納得しているだけである。実際の効果は伝わっていない。

- 発砲スチロールケースで販売しているお肉の事例で、あるスーパーが、客が購入後にビニール袋に入れて持って帰っている様子を見て、もともとビニール袋に直接入れて販売するようにしたところ、売れ行きがよくなったという話を聞いた。販売する側も、消費者が求めていることをする必要がないと思う。
- いけすがあるスーパーはすごく良いと思う。そのままビニール袋に入れて、そのまま持って帰ることができる。ただ、最近は見かけないかもしれない。
- 消費者が過剰に衛生面を気にしているせいで、いけすがなくなった可能性がある。
- 梱包されず、生で並んでいる野菜も少ない気がする。

○農作物の配送について

- 消費者の近くで育てられた農作物を食べれば、その配送コストも安くなるため、価格が安くなる。さらに、配送の距離が短くなるため、環境への負荷も軽くすることができると思う。
- 東京に大きな畑を作るのは難しいけど、近郊農業などを積極的に実施して、無駄な輸送を減らすことはできるのではないと思う。
- 新幹線での配送は、早い上に、コストを抑えることができると聞く。鉄道だと一気に運ぶことができるため、配送コストが安く、環境にも良い。遠くから農作物を運ぶ際は、近くまで電車等で運び、そこからトラックで届ける方が、配送コストも抑えられた上で、環境にも良いのではないと思う。トラックの運転手が不足している問題もあるし。
- リニアモーターカーは自動運転が可能なので、人件費を安くできるのではないと思う。
- 電車を通っていない地域もあるため、電車を利用した輸送は難しいこともあるかもしれない。
- 単価が安い商品は、配送費をかけることができない。例えば IC チップは、単価が高く軽いため飛行機で運べる。単価が高く重いものならば、船が使える。特に、単価が安くて重いものはどのように運べばいいのかと思う。

○有機商品など環境配慮商品の在り方について

- 環境にすごく負荷がかかっていることを知れば、高い商品でも買うと思う。
- 購入する際に、環境のことまで考えない気がする。
- 何の情報もなく 2 つの選択肢があったときに、やっぱり価格が安いものを買ってしまう。

- 自分に大きく関わる情報でなければ、考えないと思う。例えば、JAS マークがついている商品は安心して食べられることや、遺伝子組み換えされていると怖かったりすることなど、健康に直結する情報なら関心がある。
- 安いものが売れなくなってしまうと、それを生産することで生計を立てていた人が困ってしまうかもしれない。ただ、環境に配慮して作った商品が売れないのも問題だと思う。

○有機商品などを購入する理由について

- 金銭的に余裕がないと、わざわざ高い食品を買おうとは思えないと思う。
- おいしいものを食べたいというのも 1 つの理由かもしれない。
- 将来の健康への投資という考え方があると思う。有機商品などの方が、安心できると思っているかもしれない。

2 班（中学 2 年生、中学 2 年生、高校 3 年生／3 名）

【テーマ①（食の安全保障）】

○質問：あなたが最近体験した身近な出来事や見たニュースの中で「食料が家で食べられない、または食べにくくなるかもしれない」と不安を感じたものがありますか。

○質問：その出来事やニュースで、あなたはどう思いましたか。不安に思ったことを教えてください。

- 卵は昔 200 円だったけど今は 300 円になってしまって、卵料理が減ってしまった。プリンなどもスーパーで買いにくくなった。野菜ジュースとかもステルス値上げしたというニュースを見た。気がついたら値段は一緒なのに量は減っていてびっくりした。
- 普段から卵料理をそんなに食べるわけではないが、ケーキが値上げされているなと感じた。
- 昆虫食が最近ニュースで取り上げられるようになった。そういうのは嫌だなと思う。
- コオロギなどはタンパク質が豊富なので体にいいと聞くけど、あまり食べたくない。

○質問：その出来事やニュースのようになったのはなぜだと思いますか。思いつく理由を教えてください。

- 去年も鳥インフルエンザのニュースが結構取り上げられていた。それが原因だと思う。
- 鳥インフルエンザで鶏の数が減った点は同じ意見。これまでは、外国から小麦を多く輸入していたが、ロシア・ウクライナ危機で輸入量が減ってしまったので食料の値段が高くなっているのだろう。
- 鳥インフルエンザがずっと流行っていて、国内だけでなく国外でも流行っている。それとウクライナとロシアの戦争で、小麦の生産量が多い国が輸出できず、飼料の値段が上がっている。
- 飼料は外国からの輸入に頼っているが、国産は高い。高くても国産を使えば、安定的に供給できるので値段は抑えられると思う。日本では気候・土地が狭いから作っていないと思う。日本のとある養鶏場で、国産の飼料の使用をはじめて、安定的に供給できているというのを見た。
- 廃食油を飼料に混ぜてもっといい飼料にしているというニュースを見たことがある。
- オムライス屋さんで卵の値段が上がったことによりメニューの値段も上がってしまったので、お客さんが減ってしまったんじゃないかと思う。

○質問：日本に住む人が今後、食料に困らないようにするためには、何をしておく必要があると思いますか。

- 農業従事者を増やす。農業従事者を増やすと安定的に供給できると思う。
- 食料自給率を上げる。例えば、日本の米粉を使う。シカの肉とかを使ったりすると、食料自給率が100%になるかもしれない。香辛料や調味料は外国産が多いが、日本で作ることが一番大切。

○その他：食料の輸出はした方がいいと思いますか。

- 日本独自の農作物を広めすぎると、シャインマスカットみたいに種苗が流失してしまう可能性もある。でも、日本の美味しい農作物を世界の人にも知ってもらいたいなと思う。
- 自分の国で品種改良して他の国に渡ってしまったとしても、自国でつくったという権利を守られたり、私たちが品種改良したのだから勝手に多く売ったり販売目的で買わないでという感じにしていくと、日本の経済も安定していいと思う。
- 自分の国でつくったマスカットを輸出しすぎると、逆にもっと作ってほしいという感じになってたくさん作らなければならなくなり、パニックになるかもしれない。

【テーマ②（農業者の人口減少）】

○質問：あなたの周りに農業をしている人はいますか。あなた自身は農業をやってみたいと思いますか。

○質問：「農業を仕事にする」と聞いて思い浮かべるイメージがあれば教えてください。

○質問：そのイメージを持っているのはどうしてですか。思い当たることがあれば教えてください。

- 大変そう。勤勉な人がやっているイメージ。普通の会社員は休みが取れるが、農作物を育てるとなると休みは取れない。早朝に起きて収穫するというふうに。自由がないと思ってしまう。
- 周りに農業をしている人はいないが、NHKのテレビ番組で埼玉県から静岡県へ移住してわさび農家になった人がいるという話を見た。そこで、「新しい人はそう簡単に受け入れてもらえない」「無事に家に帰れるありがたさを感じる」「生きている感じがすごくする」「お金がかかる」「大変なこともあれば楽しいこともある」等といった話があった。小学生のころ家族と栽培等をして楽しかったので農業をやってみたいと思ったという話だった。中学2年生の時に色んな職業の人が学校に来てくれる機会があったが、その中に農家の人がいなかった。中学3年生になったら、

25歳の自分の履歴書というのを書くが、会社員とか書く人が多い。そういう意味で、農家を増やすのも結構大変だなと思った。

- 僕も家庭菜園をやっていてトマトやきゅうりを育てていた。トマト系は育てるのは楽だが、お米やなすはすぐ病気になってダメになったりする。だから若者は農家になりたくないという思いがあるのではないかなと思う。
- 自然災害で1年かけて育てたものが一瞬でなくなったり、熊が食べてしまったり、高級フルーツの盗難の話をよく見かける。悲しいし、そういう経験をしたくない若者もいるのかなと思う。

○質問：農業がどんな仕事であればやってみたいと思いますか。

- 給料が上がればやってみたいかなと思う。移住したら土地代が無料になるから農業をやってねというような支援があるとよい。
- 農業は重労働で大変というイメージ。自然に囲まれていて、都内で会社に勤めるのに比べてストレスも少なく人間らしい生活ができる、会社と違って音楽をかけたり電話をしながら仕事ができる、田植えのときは家族全員で隣の家の人を巻き込んでやっているイメージ。これらは日本昔ばなしからきているイメージなのかなと思う。また、自然災害にもさらされやすく、コンバインなどの機械は2・3年で壊れてしまいお金がかかる。給料が上がったり、農業だけで生計が立てられたり、異常気象で農作物がダメになったときも助けてくれる制度があると、農業をする人が増えると思う。また、国勢調査によると、健康問題や生活困窮で自殺する人が農業は多いというのを聞いた。会社のように有給休暇制度があって休めたりすると、助かると思う。
- 農業は重労働で低賃金なところが、みんながやりたくない原因の1つだと思う。農業は田舎に移住しないとできないが、若者は都会に行く。都会で農業ができるようになれば、人が増えると思う。会社員みたいに休みがあるとさらに良い。
- 体験くらいであればやりたいが、それを仕事にするとなるとうーんと思う。
- 農業のいいところだけやりたい。収穫だけとか。
- AI、スマート農業、遠隔操作があればやってもいい。
- お金儲けのためではなく自分がやりたいからやるというような感じだと、すごく楽しそうだと思う。自分たちが食べる分だけ、小さなプランターからはじめるなどだとやってみようかなという人もいるかもしれない。自分も小学生の時、プランターで育てたことがある。そういうことから始めてみたら農業をやってみたいという子も出てくるのではないかなと思う。
- 機械が壊れやすいというのは、日本の企業に壊れにくい高品質なものを作ってもらえばいいと思う。

【テーマ③（農業・食品産業の環境対応）】

○質問：あなたが最近体験した身近な出来事や見たニュースの中で「食品と環境の関わり」を感じたものはありますか。どんな出来事・ニュースだったか、教えてください。

○質問：その出来事やニュースで、あなたはどう思いましたか。また、どのようなことを意識しているようにしていますか。

○質問：その出来事やニュースのようになったのはなぜだと思いますか。思いつく理由を教えてください。

- コオロギは二酸化炭素を出さないので環境にいい。
- 「てまえどり」をコンビニで見た。
- 閉店時間が近づくと割引になる取組がある。
- 規格外の果物をジュースやジャムにすると食品ロス削減につながってすごくいいと思った。
- スーパーのサミットで、消費期限が近くなったものにシールが貼ってあり、それを集めるとガチャガチャができるというのを見た。
- サフオイル（SAF：持続可能な航空燃料）で食品と環境の関わりを感じた。今までは揚げ物屋さんで使った油を廃食油専門業者が取りに来ていないものとしていたが、ドイツ・EUの方では廃食油を使って飛行機の燃料にする。ルフトハンザ、JALなどがはじめている。ヨーロッパでは短距離で飛行機に乗ることは環境に悪い、飛び恥というらしい。Fry to Flyというスローガンがあることを知った。
- オーストラリアで作りすぎた野菜を売るスーパーがあるというニュースを見た。傷がついているけど食べられる。生活困窮者も来るし普通の人も買いに来るらしい。
- 食品ロスについては、作りすぎ。お店も平均値・中央値を出して、どれくらい売れるのか出すといいと思う。
- 中国では残すことが礼儀で、おいしかったという表現になると聞いた。そういうことも食品ロスにつながる。
- 賞味期限が切れても最近の食品は安全だったりする。意外と食べちゃう。
- 例えば、傷がついたものを買うとクーポンやポイントがもらえるとすると、買いたくなる。それによって売れ残りが減ると思う。売れ残ってもジャムやジュースにする。
- コロナでUberやテイクアウトが一般的になったが、要らないと言わないと箸やフォークが付いてくる。使い捨て容器を使っているのでゴミが増えている。レジ袋は有料にしているが、プラスマイナスゼロだと思う。
- スターバックスでは、タンブラーを持っていくと割引してくれる。消費者・環境にすごくいいなと思った。

○質問：環境に配慮した食品の中でも、どのような食品だと他の食品と比べて買いたいと感じますか。新しいアイデアでも良いので教えてください。

- アレルギーがあると、高くても有機食品の方がいいんじゃないかなと思う。
- 有機食品でリコピン10倍などだと買ってみたいと思う。
- もう少し有機食品を押し出す。あまり有機食品は認知されていないと思う。
- 理想だが、プランターで野菜を育てる。
- ドラゴンボールの仙豆のように一粒でも体が回復するというように、少なくとも栄養も取れて満足感も得られ、助かるみたいなもの。
- 学校等でこのような取組をやっているというのを教えると、子どもたちも興味を持って買ってみようとなるかもしれない。消費者にとっても販売者にとってもいい。
- ポイント制にすると目に見えていいかもしれない。

○その他：昆虫食が今後進んできそうですがどう思いますか。

- あまり食べたくない。
- 昆虫食よりも、日本は自然が綺麗だから元々の野菜などを食べた方がいい。
- 中国だとザリガニ・ナマズとか食べたりする。見た目が嫌だ。
- 昆虫そのものだと嫌だ。加工されていたらまあ、、
- コオロギパウダーだとまだいい。ビジュアルの問題。
- 給食で出てくると、残す人が絶対出てくる。
- 虫が好きなので食べたくない。
- 将来（世界で）人口爆発した場合、たんぱく質が足りなくなったときに役立つのが昆虫食なので大事。2050年位に生まれた子たちなら食べるかもしれない。農業従事者を増やして、昆虫を食べなくていいようにする。

【その他、いけんひろばの後に参加者から寄せられた追加意見】

- テーマ①食の安全保障 質問「出来事やニュースで、あなたはどう思いましたか。不安に思ったことを教えてください」について、地元では最近エリア定額乗り放題というサブスクサービスが始まった。
習い事に向かう時に子どもだけでも乗れて、免許を持たない子ども連れの親子や高齢者が安心して病院やスーパーに行けるように、コミュニティーのみんなが毎月定額を出し合うことで成り立っている。
高齢になると、住み慣れた場所から引っ越す事に抵抗がある方もいると聞いた。近くのスーパーが無くなり買い物をしにくくなったら引っ越さなくてはならないのか。地域の皆で支え合える良い取組だと思い紹介したい。

郵便局は配達地域の住所の名簿を持っていて、平日毎日手紙を配達していて地域のことをよく知っている。2024 年問題で「日本郵便とヤマト運輸 “本格協業”」とニュースで見たが、移動が難しい高齢者に手紙や荷物の配達時に食材やお弁当を配達できたら助かるのではないかと思った。

- テーマ③（農業・食品産業の環境対応）の質問「あなたが最近体験した身近な出来事や見たニュースの中で「食品と環境の関わり」を感じたものはありますか。どんな出来事・ニュースだったか、教えてください」について、「人口増加でたんぱく質危機が訪れる可能性があるため、コオロギ食の実証実験をしているとニュースで見た」といけんひろばで発表したことについて、追加でお伝えする。

近所の図書館の掲示板に住民の声の掲示があったが「給食における食用コオロギについて」という意見を見つけたので紹介したい。

「食用コオロギが入った給食が提供されたと報道がありました。この地域でも食用コオロギの導入は予定・検討などされていますか？保護者としては反対です。たとえ粉末であっても子どもが昆虫を食べる、ということに強い抵抗感があります。また給食には一定の強制性があり、アレルギーの場合を除き、食べる、食べないの選択が難しいです。今後、食用コオロギの導入を試みることがあれば、給食は地域の財源・保護者負担で提供されている以上、住民の意見を聞いたうえですすめていただくよう、お願いします。」

それに対する回答では「現時点において、小中学校の学校給食にて、食用コオロギを用いた事例、用いる予定はございません。学校給食において、一般的な食材以外を提供する場合、安全面やアレルギーのほか、児童生徒の心情面にも十分配慮して給食提供するよう、引き続き各校に働きかけてまいります。」とあった。

この意見を読み、給食でコオロギ食が出るのは嫌だと言う人がいれば尊重しないといけないと思った。

日本では新しい食文化なので拒否反応があって当たり前だと思うし、これから浸透していけばこの方の意見が変わる可能性はあると思う。

- あと、令和4年の地元の子ども会議に参加した際「物価高だけど子ども達は食べ盛りだから食費を削れない」と首長や議長、教育長に発表した。

首長が公約に掲げて、地元では公立小・中学校の給食費が無償化になったのがとてもありがたいが、地元の自治体以外の世帯も物価高の影響は受けていて、財政に余裕がない市区町村は無償化したくてもできないと思い、国の支援をお願いしたいので、関係する省庁にお伝えいただきたい。

これからも小・中学生の全ての子どもたちが、お金の心配をせずに給食で栄養満点の食事をお腹一杯食べられる事を願っている。

以上

3 班（中学 2 年生、中学 3 年生、高校 1 年生／3 名）

【テーマ①（食の安全保障）】

○質問：あなたが最近体験した身近な出来事や見たニュースの中で「食料が家で食べられない、または食べにくくなるかもしれない」と不安を感じたものがありますか。

○質問：その出来事やニュースのようになったのはなぜだと思いますか。思いつく理由を教えてください。

- 事前資料に記載されていた日本の農業に関するデータは知らなかった。シャインマスカットの品種が流出していることは驚いた。
- 国連食糧農業機関（以下「FAO」という）が「食料安全保障」の定義をしていることは知らなかった。普段は気にして食べていない。
- FAO という言葉は YouTube のニュースで知っていた。
- 自給率が低いということは学校で勉強した。しかし、それで行動に移そうとは思わない。国にしか解決できないことだと思っている。
- 鳥インフルが原因で卵が高騰していることは知っている。ウクライナ戦争で肥料の輸入が難しいことは知っている。
- 家庭科の先生が言っていたが、ちらしに卵を入れられないと言っていた。
- 料理部だが、小麦と卵などは避けるメニューにするよう言われている。

○質問：その出来事やニュースで、あなたはどう思いましたか。不安に思ったことを教えてください。

- 戦争以外にもコロナで輸出入に影響があり、価格高騰が多く不安。

○質問：日本に住む人が今後、食料に困らないようにするためには、何をしていく必要があると思いますか。

- アイデアを思いついても実際に実現できるかが問題である。自分で出来ることは外国産を買わないということだけである。自分ひとりが外国産を買わないとしても効果が小さいので、同じことを思っている人がいてもやる気があまり出ないと思う。
- みんなが危機感を持っていたら力を合わせてできるかもしれない。
- 食料品を輸出していくことは、今あるものだけで出来るという点で良い解決策になりそう。今は円安なので良くないが、2019 年に 2 %だった主要農産物・食品の輸出割合を増やせたら良いと思う。
- 牛乳が余っていると聞いたことがある。他にも余っている食品はあると思う。日本では食料品の輸出で一番多いものがお酒なので、もっと伸ばせられたらと思う。しかしまずは農家の問題を解決すべきだと思う。

- 余っている食料は多そう。
- 輸入は食の多様化が原因にあると思う。日本は豊かな国なので、加工方法が難しい米粉などの開発を進めて、小麦の代わりなどにすればよい。輸入を増やすのではなく、加工方法などを開発して今日本にあるものを活用するのが良いと思う。
- アマゾンに米粉のパンの広告があり印象的だった。
- 炊飯器の横に製粉機などがあって、手軽に米粉の調理が出来ればよいと思う。
- 自宅で米粒だけで食の安全保障が解決できれば良い。
- 飼料も輸入に支えられていると思うので、鶏や豚などが国産米を食べると国内でサイクル出来て良いと思う。
- 国内産の良いものは高い。値段が高いことさえクリアできれば良いと思う。
- どこで国産品の値段が高くなっているか不明。わかれば、高くなっているところを安くできたら良い。

【テーマ②（農業者の人口減少）】

○質問：あなたの周りに農業をしている人はいますか。あなた自身は農業をやってみたいと思いますか。

- 周りに祖父母が農家という人が多いので、本当に農家が減っているのか実感が無い。
- 市内なら畑などが身近にある。
- 周りに農家はいない。父方の祖父が田んぼを持っているが、委託して作ってもらっている。
- 意外と世田谷育ちのブドウ園などがある。都内でもできないわけではないので、農業をやってみたいという希望はあるが土地がない。
- 家族で田植え体験はやったことがある。
- 田植え作業の経験はない。親戚で農業をやっている人がいても自分ではやったことはない。

○質問：これからは日本の農業者が減る見通しです。農業者を増やすほかに、日本で今以上に農産物を生産していくためにはどのような取組が必要だと思いますか。

- 若者に流行らせられたら良いと思う。
- 今持っているイメージで農作業をすることは抵抗感があると思うので、農業をカッコよく見せる方が良いと思う。
- 若い人には仕事が農家だけでは魅力的に映らないと思うので、週末別荘という感覚で副業的に農業をする方が良いと思う。
- 家庭菜園の規模で良いのではないか。農地の貸し出しをして主婦のお小遣い稼ぎ

として農家をやるのはどうか。

- 体験として貸し出されている場所でトウモロコシを家族で育てたことがある。机ほどの大きさの場所で、自分たちで食べる用に作っていた。
- 貸し出し場所で野菜などを育ててみたいが、予約が取れなかった。
- 貸し出し農業は小さい子に喜ばれそう。
- 金銭的負担は大きいですが、ロボットやAIで自動化して農作業を効率的に行うのはどうか。品種改良は人間がする仕事で、水をあげるなどは自動化しても良いと思う。人にしか判断できない部分もあるので、分析するプログラムを開発することもよいかもしれない。
- 自動化すると潰れる職業も出てきてしまうが、高齢者は年金を貰っているので職がなくなっても困る人は少ないと思う。
- 定年してから農業をする人もいると思う。
- 移住ブームも活用して農業従事者を増やせると思う。
- 食の問題について子どもたちは知っておくべき情報だと思う。

【テーマ③（農業・食品産業の環境対応）】

○質問：あなたが最近体験した身近な出来事や見たニュースの中で「食品と環境の関わり」を感じたものはありますか。どんな出来事・ニュースだったか、教えてください。

○質問：その出来事やニュースで、あなたはどう思いましたか。また、どのようなことを意識しているようにしていますか。

○質問：その出来事やニュースのようになったのはなぜだと思いますか。思いつく理由を教えてください。

＜フェアトレード商品について＞

- 普段、環境に配慮したマークなどは見ていない。まずは値段を見ている。
- フェアトレードについて学習し、気にして買うことを周りの人に宣言したが高くてなかなか買えない。普段の値段に慣れすぎて、フェアトレード商品は高く感じてしまう。
- フェアトレードのチョコレートが800円するのを見た。
- 普段の商品が安い理由は、貿易における先進国の権利で労働者にあまり良い環境でないところで働いてもらっているからだと思う。
- 児童労働の問題に自分も関係はあると思っているが、状況が深刻だし、自分の生活と程遠いので実感がわかない。原爆ドームで写真を見ても実感できないのと似ている。
- 現地に行って辛そうにカカオをつくる労働環境を目の前で見たなら、大人になって政治を動かすなどの原動力にはなると思う。

- フェアトレードにつながるアクションを起こすのは難しい。あまりフェアトレードの商品を見たことがなく、買いたくても買えない。
- そもそもあまりチョコを買わないようにする方法も考えられる。
- 身近な行動としてフェアトレード商品を買うなどがあるが、大半の人は安い方を買うので、フェアトレードの商品を買う人が損した気分になる。周りでフェアトレードの商品を買うブームが起きて大半の人の行動が変わると良いと思う。
- 高級チョコのブームはどうか。そもそもチョコは高いものが普通になれば良いのでは。
- 女性は美容やダイエットを気にしているので、人に良いことをするというよりは、買うと自分にも美容効果やダイエットにつながるというような良いことがある、としてメリットを伝えられると良いと思う。
- おすすめポイントが記載されていると買おうかなと思う。

<有機食品・国産食品について>

- 有機食品について、中国は人口も多いので市場が大きいのが理解できるがアメリカは人口の割に市場が大きい。
- 有機食品とそうでない食品が並んでいたら、有機食品は高いので買わないかもしれない。有機食品だけのスーパーも行かない。
- アメリカでは健康問題は多くあるが、日本は和食で健康的なのでアメリカと違って有機食品を意識している人がいないかもしれない。
- 親は安心感があるので国産のものが好きだが、値段が高い。環境に配慮した商品も値段が高い。
- 嬉しい気分なら国産を買うが、落ち込んでいたらどちらでもよい。
- 節約したければ外国産を買う。おつかいで、国産があれば国産だと頼まれるが、自分で買うとなると安い外国産のものを買うと思う。
- 農薬を使う商品をなくすのは難しい。教育で農薬を使わないことを徹底的に教える方法があまり良い方法とは思えない。アフリカで焼畑農業を仕方なくしている人もるように、農薬を使わないように農家に言うのも難しい。農薬を使わないよう強制すると困る人もいる。まずは人間の立場を守ることが大事であるが、広い視点で見れば環境を守るとは自分たちを守ることとも繋がっていると思う。
- 有機食品はアメリカ等意識の高い国で生産されて輸入されるから高い¹。日本が直接カカオ農家とフェアトレードできたり、国内で生産できたりすれば良いと思う。フェアトレード商品や有機食品はパッケージが英語のことが多いイメージ。
- SDGs のようにアピールしすぎるのではなく、著名な YouTuber などが自然に「私も

¹ 農林水産省注：実際の有機農業の取組は、欧州諸国では高いがアメリカでは低い。

有機商品を買っています」とアピールしたり、テレビやアニメで当たり前の描写のように、購入する時に産地を確認する場面などあつたりすると受け入れやすい。

- 産地などを毎回確認してられない。
- 教育で食の問題を取り上げていくべき。
- フェアトレード商品や有機食品は現在はパッケージがおしゃれだけど売れていないので、それ以外のブランディングなどが必要だと思う
- 食品表示は裏を見ないといけない。海外のメニューは〇〇産と書いてあるのでわかりやすい。ロゴを大きくしたり、産地をアピールしたりするパッケージにすればよいと思う。

<遺伝子組み換え食品について>

- 日本は遺伝子組み換えや農薬の基準がゆるいと聞く。例えば、日本はアメリカよりも添加物の規制がゆるいと聞いたことがある。
- 規制がゆるくても、イメージだけで日本で売っているものだと安心そうだと思う人が多いと思う。
- 遺伝子組み換え食品は何が危ないかわからないあいまいな怖さがある。自分ごとに考えられていないので食品を買うときの判断材料にならない。
- 遺伝子組み換えの表示義務など、表示義務について取り締まれば良いと思う。

<環境について>

- みんなが知っているお菓子などの環境にやさしいバージョンを大量に生産すると良いと思う。
- 有名メーカーのチョコでフェアトレードや環境に配慮したものと聞いたが、売っているのを見たことがない。
- 異常気象で畑などが使えなくなる場合は、国内で農業ビルを建てると良いが、電気が必要になる。電気代の値上がりも農業に関係があると思う。発電で使う燃料費が高騰していると聞いた。燃料を使わない再生エネルギーを農業に活用すると良いと思う。
- エネルギーも含めて輸入に頼っていることは課題である。
- 燃料は海で見つかったとも聞いたことがある。
- 環境問題は社会問題を解決してからでないと解決できない。まず貧困をなくして先進国を増やしてからでないと、途上国の環境破壊はある程度は発生する。
- 環境問題がどのくらい深刻なのかわかっていない。
- 牛によるメタンガス発生の話があつた。メタンガスを出させない肥料があるらしく、技術革新でメタンガス発生の問題をどうにかできればと思う。
- カップラーメンに入っている謎の肉は大豆でできているけど、だいぶお肉に近し

く感じる。

- ハンバーグのお肉に混ぜるなど活用できるのでは。それでも牛肉の消費をゼロにするのは難しい。

<その他：こどもへの教育>

- SDGs の教育を小学5年生から受けているが、教えられすぎたため抽象的すぎるように感じている。自分で調査したりグループワークしたりと、良いこととして学ぶ機会が多すぎて逆に身につかない。そうならない教え方が良い。
- アイデアを思いついても動けない。エコバッグが有料であるように強制力のある取組にしたい。
- 聞くだけでは自分事には感じられないので、体感してもらう必要がある。
- 社会科見学は一度きりで、意識が高まったとしても行動に移すよりの移さない人になるだけで、世界は変わらないと思う。
- 誰かが活動した時に便乗するという力も大事だと思う。例えばグレタさんが環境問題を理由に休んで周りも影響されて休んだように、便乗することも大事。周りが問題意識を持つことが重要なため、行動に移すよりの移さない人も大事だと思う。
- ターゲットを学生にした取組にすると良い。
- 発表を聞いて発見して影響を受けることはあるが、忘れてしまうので行動は変わらない。メディアを使って伝えるのはどうか。

<その他：周知方法>

- ご飯を満足に食べられていない人が世界に3億人はいる。何億人規模だと当事者意識を持ちにくい、〇〇人に1人という表示をされると、より身近に感じ、危ない状況だと感じる。
- 世界が100人だったらといった本があり、そういうもので子どもに環境のことを教えることが大事だと思う。
- 学生は通学中にスマホを見られないとき、意外と電車の広告を見ているので周知に電車広告も良いと思う。
- 電車にテレビがついているのは首都圏の人だけかも。

以上

4 班（中学 2 年生、中学 3 年生、高校 2 年生／3 名）

【テーマ①（食の安全保障）】

○質問：あなたが最近体験した身近な出来事や見たニュースの中で「食料が家で食べられない、または食べにくくなるかもしれない」と不安を感じたものがありますか。

○質問：その出来事やニュースで、あなたはどう思いましたか。不安に思ったことを教えてください。

- 卵が高くなっているというニュースを見た。
- 遺伝子組み換えや人工添加物等が増えている気がして、買えるものに制限がかかるというニュースがあった。私たちの家族自身が遺伝子組み換えや人工添加物にすごく気を配る家庭。毎回商品の裏を見ると、だんだんそういうのに頼ってきているなど感じる。食べたいけど手を出したくないと思う。この前も友達と遊びに行ったときに、「あーそういうの使っているからちょっと、、、」という感じで食べるものに制限があった。友達から「それ買わなくていいの？」と言われて、「いやーちょっと、、、」となってしまう友達関係がギスとなった。気にしない人はいいと思うが体にも影響するし、個人的にはあまり食べたくないと思う。そういう食品が多いと嫌だと思う。また、そういうものはすごいんだぞと言ってたり、安いし、買う人もいるので余計需要が高まってしまう。今日もお母さんがニュースを送ってくれて、あまり食べない方がいいとか、ストレスを与える食品みたいなことを共有していた。
- 最近私の周りでは、地域をもっと盛んにするために地域のお店が増えている。例えば、おにぎり屋さん、ドーナツ屋さん、パン屋さんがあり、個人の家の中でその人ができる範囲内でお店をやっている。何がすごいかというとインスタ映えもそうだが、添加物不使用や遺伝子組み換えでないことにもこだわっていて、さらに地域のものを使っている。そこでは自然な感じで作られているので、すごく食べやすく、地域のものを食べることでその地域を盛んにすることにもつながっていると思った。
- 小麦も大麻と同じように中毒性があるらしく、小麦を 1 週間ずっと食べていた人が急に食べなくなって、またしばらくして食べるとそういう反応が見られるらしい。そういうのも食べ過ぎると中毒になり、体がおかしくなるというのを聞いた。
（注：要確認）
- 人の手で育てられた温かい食品が少なく、機械の味を食べていることが多くなっている気がする。スマート農業等もいいと思うが、人が作ったものの方を食べたい。私の近所は個人で経営している農業者がたくさんいる。その方々はスーパーではなく、自分の畑の前で作物を売っている。そのような野菜は大きいし、スーパーのように人参等の葉っぱが切り取られていない。葉っぱはめっちゃ甘いのもあった

いないし、葉っぱを捨てると食品ロスにもつながる。

- 自分の近所では農家さんが家の一部を貸し出して、教室やイベント等に貸し出している。貸しているお金も安定して入ってくる。毎日畑の景色や作業を生徒や保護者が見ているので、こんな風にやっているんだな、大変だな、すごいな、等の声が聞こえる。そういうのはお金も安定して入ってくるのに地域の人々とも交流できて、ハッピーな農業だなと思う。そういうのがもっと増えてほしい。
- 国立競技場の千駄ヶ谷側で狭い農地みたいなのを作りだしたのを見た。あんなところに農地を作っても、アピールしているだけだと思う。代々木にも地方にあるような野菜や食べ物を売っている売店のようなものがある。お金を入れてくださいというようなもの。どこで採れたんだろうというのが気になった。
- 以前ホテルに行ったときに、水耕栽培みたいなものを見た。
- スーパーに行ったときに、野菜の値段が以前よりも高くなっていたり、値段は同じでも個数が減っていたり、数が同じでも高くなっていると感じた。好きな野菜をいっぱい食べられなくなって困る。
- テレビ番組で2030年を分岐点として、国内でもごはんを食べられる人と食べられない人の差が開くと聞いた。その再現の様子が衝撃的だった。その映像は、路上にダンボールをひいて生活し、少量で高いものを「もっと安くして」と言っている人の横を「今日はステーキ食べたね」と言いながら親子が歩いているという映像だった。
- 自給率が低いので、今は大丈夫でも未来が心配。
- 海外に住んでいた時に、好き嫌いもあり食べられるものが少なかった。現地の子はもっと食べるものが少なそうだった。
- 昨日の朝のニュースで食品の値上げの話を聞いた。そこで〇月に〜も値上げと報道していて、計画的に行われるのだと驚いた。その時の物価等で値段が変わると思っていたので、まだ将来の物価がわからないのに今の時点で将来の値上げのことを言うんだなと驚いた。誰がどうやって値上げを決めたんだろう、不思議だなと思った。
- びっくりドンキーのトイレに行ったときに、石鹼が油を回収してつくったものだった。また、食べ残しを再利用して土にしたりするコンポストのようなものを置いている店舗もあるようだ。私もコンポストをやっている。ちょっと臭いけど簡単にできる。
- ごはんを作ってもらったときに、すごく残している人がいて衝撃的だった。トウモロコシの髭もおいしいのに捨てられていたし、キャベツの葉っぱもたくさん捨てられていた。
- ニュースでご飯を半分食べて半分残したというのを見た。
- 宮城県に行ったときに、米農家さんから米が日本で余りすぎているという話を聞

いた。そして米農家を辞めてキウイフルーツをしているという話だった。お米を外国人とかに普及しちゃえと思った。また、地産地消にもっと関心を持ってほしいと思った。

○質問：日本に住む人が今後、食料に困らないようにするためには、何をしていますか？

- 昔のように自分が食べられるもの、最低限のものを自分で作れたらいいと思う。それが安定して供給できる方法だと思う。しかし現実的に難しいのは分かっているので、せめて地域の中でいざとなった時に助け合うみたいな感じがいい。今のグローバル化した社会を根底からひっくり返すみたいなことを言っているが、それがやはりベストなのかと思う。元々人間が狩猟採集してきたことを考えると、そうじゃないことを無理矢理やっているから色々問題が起きるし、世界が広くなればなるほど争いが起きるのも解決しないといけない。
- 自分の家のちょっとしたスペースで栽培して、それを地域で交換したりする。交流兼食糧交換みたいな感じ。お金にこだわらなくても、そういう仕組みを作ってしまうと一番いい感じにできるのではないかなと思う。
- 食品について、使えるところは使えるようにする。
- 玉ねぎやアボカドは水につけると生えてくる。子どももそれを観察しておもしろいと思ってくれるかもしれない。育つ姿を見ることはおもしろいし、農業にも触れられるしいいと思う。
- 地域向けに大人が給食を食べられる場所を開設したら、食品ロス対策にいいと思う。中学校は残飯が多い。余ったものを限定〇食みたいにして配るといいと思う。

【テーマ②（農業者の人口減少）】

○質問：あなたの周りに農業をしている人はいますか。あなた自身は農業をやってみたいと思いますか。

○質問：これからは日本の農業者が減る見通しです。農業者を増やすほかに、日本で今以上に農産物を生産していくためにはどのような取組が必要だと思いますか。

- 祖父が農業をやっている。自分の家で食べる分をつくっている。あまり自分はやってみようとは思わない。ちゃんと定期的に見ないといけないので、時々でいい。
- 腰痛そうだし、あまりやってみようとは思わない。成長過程を見るのはおもしろいと思うが。みんなで交代でやるのであればいいと思う。ただ、地球温暖化の影響で暑いし虫もいる。夏だけでもいいから休みたい。農業者パスポートみたいに、何か特典みたいなものがあればいい。例えば、自分の野菜を仕入れているレストランの割引券とかあると、やる気も出そう。

- 国会議員の JR の券みたいな特典・メリットがあればいいと思う。
- もう少しメリットを見える化してあげないといけないと思う。
- スポーツチームで、午前中は農業して安定した収入を得て、午後は練習するという記事をみた。引退した後に農業に就く人もいるようだ。もう少しそのような選択肢を発信してもいいと思う。
- 農業をはじめるハードルが高いので、義務教育の過程で農業に関わるような実践的なものがあるといい。食料自給率が低いとか環境問題を話すのでなくて、実際に農作物を作って触れる機会をつくって体験した方が大変さとか良さがわかっていい。将来農業をやろうと思ったときに、やり方が分かれば全然違うと思う。学年で1個畑をつくって6年間管理して、1人1人が農業に関する技術や能力を身につける。そうすると将来輸入が途絶えたとしても、自分たちで食糧を供給できると思う。
- 近くの小学校で米を育てているが、自分たちで育てた米が給食で出た場合は残食ゼロ。自分たちで育てたものを食べる方が食の大切さがわかっていいと思う。
- 農業をしている人が自分で作って加工・販売までやるのはすごくいいなと思った。お客さんの顔も見えるしいい。農業以外でもアパレルとか協力しあって6次産業のようなものが作れたらいいと思う。個人の負担も減るし、地域の活発化にもつながる。

【テーマ③（農業・食品産業の環境対応）】

○質問：あなたが最近体験した身近な出来事や見たニュースの中で「食品と環境の関わり」を感じたものはありますか。どんな出来事・ニュースだったか、教えてください。

○質問：その出来事やニュースで、あなたはどう思いましたか。また、どのようなことを意識しているようにしていますか。

○質問：その出来事やニュースのようになったのはなぜだと思いますか。思いつく理由を教えてください。

- スーパーに行ったときに、絶対にプラスチックごみが付いてくる。それがすごく嫌だ。家庭でプラスチックごみを出さない方針だし、できるだけ買わないように心掛けている。昔のスーパーや八百屋はプラスチックには入れなかった。そっちの方がいいと思う。また、スーパーのカゴのまま持ち帰って、もしそのカゴを使わなくなったら返金するシステムもあるので、そういう風にすればいいと思う。魚や肉は昔ながらの包み紙みたいなものに入れるとか。プラスチックでなくてもいいと思う。衛生面の問題は触れないようにすればいい。例えば、タッチパネルでピッと押すと商品が出てくるような感じとか、商品を見て支払いをした後 Amazon みたいに届くシステムもいい。
- 自分が住んでいる市ではリサイクルしていますというので、どのようなものか自

分で聞いてみた。実際にはリサイクルしているところもあるが、リサイクルせずに燃やしているものもあった。リサイクルしている部分も洗剤や水等たくさん使っているとのことで、環境にとって微妙だと思う。結局プラスチックを減らすのがいいと思う。

- 牛肉を生産するとメタンが出てくるという話について、現代人はたんぱく質の量が昔よりも増えていて炭水化物が減っている。炭水化物の摂取を勧めるとお米の消費量も増える。牛肉の消費量が減ると、牛肉は輸入に結構頼っているので、牛肉の生産の段階でも牛の管理やエサ代、その後の輸出・輸入にかかるコスト、環境にかかる負担を考えると日本の中で元々食べられてきたお米等を食べればいいと思う。
- 無理矢理輸入しようとしているのが良くない。
- 自給率を増やして、多少輸入するというようにした方がいいと思う。輸入しすぎることによって依存しすぎてしまう。

以上

2023/08/03 開催 いけんひろば～若者と食の今後について考える！～
オンライン①開催回 いけんのまとめ

1 班（中学 1 年生、中学 2 年生、中学 2 年生、高校 2 年生、高校 3 年生／5 名）

【テーマ①（食の安全保障）】

○実際に聞いた、もしくは経験した食に関するニュースや問題について

- 2 年くらい前に北海道に行った時、そこで売られているカニや海産物が、だいたいロシア産だった。最近になって、ロシアがウクライナに侵攻し、それらの海産物がどうなったのか気になり、不安に思った。
- 初めて仙台に行ったとき、牛タンが普通に食べられたが、それから 1 年後ぐらいに行った時には、牛タンが少なく、ほとんどがつくねになっていた。牛タンのほとんどがアメリカ産だったらしく、牛タンが食べられなくなるのでは、と焦った。
- カニや牛タンは、限られた食材だが、他の色々なところで育てられる植物については、色々な入手ルートを確認しておくことが大切なのかなと思った。
- 最近、身近なお菓子やアイスが値上がりしたというニュースを見た。物価が上がって、今まで食べられていたお菓子やお肉が簡単に食べられなくなるのではと思った。
- 北海道に住んでいるが、スーパーなどでは、相変わらずロシア産のカニなどを見かけるので、あまり変わっていないと思う。
- 半年くらい前に、卵が少なくなったというニュースがあった。そのニュースの後に、お店から卵がなくなったり、値上がりしたりして、マヨネーズのメーカーが、自社のマヨネーズの卵をブラジルから輸入したという話を聞いた。お母さんが「卵値上がりしたから最近買わなくなったけど、やっぱり食べたいな」という話をしていた。鳥インフルエンザが今年流行ったので、それで卵が高くなったのかなと思った。食料の購入で困らないようにするためには、色々なルートを確認したり、日本国内で作れる量を増やしたり、農業に従事する人を増やしたりすることが大切なのかなと思った。
- 私は田舎の漁村出身だが、過疎地域はコンビニも近くにない。自分の地域に来ていた移動販売が、ガソリン代の高騰と高齢化が原因で来なくなり、その影響で、地域の人の買い出しの方法が少なくなってしまった。また、個人商店もあるが、大企業と比べて仕入の量の違いなどから安定性に違いがあり、個人商店の商品は価格がすごく変動したり、商品の値段が非常に高かったりするため、個人商店で買い物をする人も少なく、地域の活性化につながっていない。食糧問題は、人口減少に直につながっていると思った。
- 今、密漁が大きな問題になっていると思う。特に日本海では、数年前、外国が稚魚をたくさん捕っていつてしまうことが多かった。これは、日本の魚がブランド化で

きない問題や、漁獲量の問題などにつながるため、色々と課題があると思う¹。

- 運送業者の人手が不足しているという、2024 年問題について気になっている。現在、ガソリン代の高騰だけでもモノの値段がすごく上がっているのに、2024 年問題でさらにモノの値段が上がると困るなど感じている。過疎地域などでは、ネットスーパーでも特別料金がかかったり、配達までにすごく時間がかかったりする。ただ、みんな車を持っていて都心部に出かけるときにまとめて買い物を行っていることや高齢化もあるので、ネットスーパーはそこまで普及していない。車を持っていない人向けには、トラックでたくさん食材を仕入れてきてくれる人がいるが、会員制で月額も高く、色々な人が利用できるわけではない。

○物価の高騰問題・給料の問題について

- 物価が上がっているのは、円安と世界の人口の増加が理由だと思う。円安は、私たちが変えられることなので、対策があると思うが、世界の人口はどうにもならないと思う。円安を解決するために、日本のお金の価値を上げなくてはいけない。アメリカでは金融引き締めなど、お金の価値を上げるために試行錯誤しているが、日本は金融緩和をしているため、お金の価値が上がらず、結果的に困っている。とりあえず日本のお金の価値を上げないと輸入もできないので、大変なことになっているのだと思った。
- 給料が上がらない問題について。今のアメリカの給料は、昔に比べて2.2倍、タイの給料も2.4倍など、実際のデータが出ているにも関わらず、日本はずっと変わらない。例えばアメリカの会社では、リストラの可能性は高いが、給料も高いらしい。日本の会社では、リストラの可能性は低い、その分給料も低い。生きていくためにはお金が必要なため、このような日本の会社の方針も見直す必要があると思う。

○フードロス問題について

- 日本は、フードロスが多いと話題になることがある。フードロスを有効活用する手立てはもっとあると思っている。フードロス商品を安く売る、生活困窮者に配るなどがある。自分の地元では、売れ残った食品を家畜や動物の餌にしたり、フードロスの商品だけを集めたコーナーがスーパーの一角にあったりする。このようなものをもっとラフに利用できたり、こういう活動が普及したりしたらと思う。もともと日本の食品管理は厳しいため、期限がギリギリの商品でも私は普通に買ってい

¹ 農林水産省注：密漁に関しては、現在、外国漁船は基本的には日本の排他的経済水域（ＥＥＺ）や領海等では漁獲をできず、近年は違法操業で捕まっている外国漁船の件数も減っていることから、一概に密漁が増えたとは言えない。ここに出てくる数年前に問題になった日本海の密漁とは、イカなどを漁獲する北朝鮮漁船のことだと思うが、東シナ海や北太平洋海域における中国漁船などとは違い、北朝鮮による漁獲圧が高いとは考えられておらず、日本海のイカなど不漁については気候変動などの要素が大きいと考えられている。

る。

- 最近、コンビニの賞味期限が近いお菓子に、30 円引きなどの値下げシールが貼ってあるのを見た。フードロスをなくすために、企業も取り組んでいるのかなと思った。
- 食品ロスを減らすため、コンビニでレジの横に箱をおいて、賞味期限が近い商品を入れているのを見たことがある。
- コンビニのジュースが置いてあるところなどで、「てまえどり」というポスターを見たことがある。流行語にも入っており、意外と企業も食品ロスには努力していることが分かった。
- たまにスーパーなどで、「ろすのん」というフードロスのキャラクターを見かけることがある。フードロスについてよく記載されていて、こういうのがあるんだと感心した記憶がある。

○弁当配達サービスや炊き出しなど、地域の活動について

- 私の地域では、買い物に行けない高齢者に向けたお弁当・惣菜を低額で配達するサービスがある。希望すれば、高齢者以外も利用できたと思う。このサービスには、企業が関わっているパターンと、地域全体でやっているパターンがあり、地域全体で行政が関わっていた方がサービスの値段がお得だった。行政が中心になってきちんとやった方が、効果があるのだと思った。
- 私の地域では、地域活動が活発ではないため、低額での配達サービスはないが、そのようなサービスでは、食中毒が起こる可能性があるように思う。どのように対応しているのか知りたい。
- はっきりとは記憶していないが、このお弁当は、きちんとした場所で作っているらしいため、お店で売っている商品に近い。私の地域では、防災訓練もかねて、炊き出しを行っている。炊き出しは、地域の人がわいわい作って提供しているが、食中毒が意外と起きていないので、なぜだろうと不思議に思う。
- 私の近くの町でも、子育てなどが終わった女性の市民団体があり、その団体の代表者が衛生管理者の資格を取って、公民館・調理場などで炊き出しをしている。行政が関わりながら行っている活動では食中毒の対策をしっかりしていると思う。

【テーマ②（農業者の人口減少）】

○質問：あなたの周りに農業をやっている人はいますか。

あなた自身は農業をやってみたいと思いますか。

- 私の祖父母は農業従事者で、家の近くの畑で農業をやっているが、私はやりたくない。理由は、収入が低そうだからである。日本の農業者の給料は、外国と比べても非常に低く、これでは生きていけないと思ったのでやりたくない。もう 1 つの理由

として、せっかく自分たちが、汗水たらして農産物を作っても、買い手がいなければ、結局収入が入らないからである。

- 自分の周りで、農業を主にやっている人はいないが、私は農業をやってみたいと思っている。ただ、今の農業の形のままでやりたいというよりは、欧米のように、販売のルートが確立されている会社的な農業をやってみたいと思う。
- 友人の家族が農業従事者で、レタス生産を行ってすごく儲かっていた。他にも高原野菜ですごく儲かっている人を知っている。希少な野菜を育てている農家は、稼いでいるイメージがある。私自身は、もっと企業的な農業の形があればやってみたいとも思うが、家族経営しないといけない形の農業であれば、自分の家族が農家でないことから難しいと思う。
- 親族では農業をやっている人がいないが、地域では農業をやっている人がたくさんいる。小学生の頃、地域でメロンを生産している人が、学校にメロンを持ってくることで、食べさせてもらったことがある。そうした経験から、身近に農業を感じてきた。

○質問：「農業を仕事にする」と聞いて思い浮かべるイメージがあれば教えてください。

- 以前、外国人が留学で農業を学ぶことが多いと授業で聞いたことがあるため、外国人がたくさんいるのかなと思っている。
- 農業には、家族経営のイメージがあるが、家族経営は一長一短だと思う。畑は作り続けなければダメになってしまうし、少し放置した後に、前と同じ品質で作ろうと思うと戻すまでにすごく時間がかかると聞いた。そのため、家族経営で世襲していく方が、安定するというメリットがある。その反面、新規参入が難しいというデメリットがある。農業に縁がない人が、よしやろうと思っても、売れるものを作れないし、ノウハウもないしでなかなか難しくなっている。そう考えると、家族経営が多い、という日本の農業はデメリットの方が大きいのではないかと感じる。
- 親が農業従事者であれば、当たり前にも子どもも農家を継ぐと思ってしまうイメージがある。農業を始めるといふ人がいれば、大丈夫なの？と言ってしまいそうな気がする。現代は職業の選択の自由があるが、農家の印象は、ある程度自分の中で限られてしまっている気がする。
- 野菜などを育てることが好きなため、農業には良いイメージを持っている。農家は、自分が作った野菜を苗の段階からすべてお世話しているので、「自分が作りました」と言って販売することができる。それは、農業をやる上でのモチベーションになると思う。
- 母は、農業が3K「汚い、きつい、危険」と言われていた時代に育ったため、農業に対して良いイメージを持っていない。しかし、私は家庭菜園もやっていて、自分

で作った野菜を自分で食べることがすごく好きだったため、農業に対して良いイメージを持っている。

○質問：そのイメージを持っているのはどうしてですか。思い当たることがあれば教えてください。

- 家族で農業を受け継いでいくというイメージがあるのは、農業従事者は慣れている人の方がいいというイメージがあるためかもしれない。

○質問：農業がどんな仕事であればやってみたいと思いますか。

- 私はあまり日焼けをしたくないので、外で暑い・寒い中で作業をしなくてもよく、今以上に機械やロボットを上手く有効活用してやれば、良いのかなと思う。
- 欧米のように、地域単位でも良いので、会社のような仕組みを作り、農業のITを導入したり、投資をしてもらえる制度を作ったりすることで、農業を経営できたらと思う。
- 農家が生産・加工・販売まで行う6次産業があるが、地元ではあんずの6次産業を築き上げた人がいる。この人のような取組があまり進んでいない。ほとんどの農家は、生産と販売しかやっていないため、6次産業のような形の農業が進んだら、自分も含め、もっとやりたいと思う人が増えるのではないかなと思う。
- 農業者の給料が低いという話があったが、普通に生活できるだけの給料をもらえるのであれば、やってみたいと思う。

○質問：これからは日本の農業者が減る見通しです。農業者を増やすほかに、日本で今以上に農産物を生産していくためにはどのような取組が必要だと思いますか。

- 昔は二毛作などをやっていたが、今お米が余っているため、お米を生産している田んぼを他の農作物の生産のために使えるのではないかなと思っている。日本は、小麦などの自給率が非常に低いため、お米以外の自給率を上げるために、それらの生産者を増やすことが大切だと思った。
- 長年農業に従事している人は、農業の経験と知識をたくさん持っており、それらの知識は科学的に見ても理にかなっていることが多いと思う。その経験と知識を科学的な検証もしてデータ化することで、新規参入の支援や気候変動の対策に役に立てられるのではないかなと思う。
- 農業が企業化され、普通の就職の選択肢として農家が挙がるようになれば、自然と農業者は増えると思う。
- 企業的な農業が良いと思う。野菜だけは残して他の雑草を枯らす薬を欧米などでは使っていると社会の授業で習ったが、日本人はこのような薬を嫌がると思うた

め、日本人に合った企業的農業を考えていくべきだと思った。

- 日本の農家は、農産物のブランド化を目指しているが、地域単位ではなく、畑・家族単位でやっているため、初期投資もあまりできず、販売促進のルートも少ないため、なかなか儲かっていないらしい。農業への新規参入が少ない1つの原因なのかなと思った。
- 農作物のブランド化に関して、ふるさと納税などでは地域のブランド農作物がよく送られてくる。実際に私の家族も、ふるさと納税で届いたフルーツを食べている。ただ、ブランド化をしても、数が少ないために希少価値が高く、値段が高くなっている。ブランド化した農作物を増やすために、家族単位で農業を行うのではなく、企業のように大きな単位で行い、ブランド化した農作物の輸出ができたらより良いのではないかなと思う。輸出することで日本のお金が増え、その分食の安全保障のためなどにお金を使えたら良いと思う。日本の農作物は、品質は良いが量が少ないということが多いので、量を増やすためにやれることがあるのではないかなと思う。
- 日本には平野が少なく、耕地面積が狭くなっている。現在、水耕栽培など、マンションの一角で農業を行うやり方などもあるが、私はこのやり方に対して、実際の土ではない、化学肥料を使っている、などの理由であまり良いイメージを持っていない。ただ、主婦の人などが気軽にできるというメリットもある。みなさんがこのやり方を知っているのか、知っていれば食べてみたいと思うか、どのようなイメージを持っているのかななどを聞いてみたい。
- 水耕栽培は薬品を使っているので、あまり良く思っていなかったが、少し前に、水耕栽培の横に水槽を作り、薬品の使用量を減らす取組があると知った。そのような方法であれば、良いのかなと思う。
- 土で育った野菜と水耕栽培で育った野菜が、同じ値段でどんなところでも売っているわけではない。水耕栽培をやっている施設がある近くの直売所で売っている程度で、大手のスーパーなどで販売されていることは少ないと思う。

以上

2 班（中学 1 年生、中学 2 年生、高校 2 年生、高校 3 年生／4 名）

【テーマ①（食の安全保障）】

○質問：あなたが最近体験した身近な出来事や見たニュースの中で「食料が家で食べられない、または食べにくくなるかもしれない」と不安を感じたものがありますか。

○質問：出来事やニュースで、あなたはどう思いましたか。不安に思ったことを教えてください。

- 卵は物価の優等生だったのに、飼料の高騰や鳥インフルエンザの影響などですごく高くなった。
- 魚が値上がりしたのを見た。寿司屋で少し前は 100 円だったのに。
- コンビニは便利で安い、コンビニでも高くなっている。学生にはきつい。
- スーパーではお菓子の値段も上がってきている。少し抵抗がある。値段は変わっていないのに、中身が減っているので少し不安。
- 自動販売機の値段も上がっている。大きいペットボトルが 180 円になっていたりする。

○質問：その出来事やニュースのようになったのはなぜだと思いますか。思いつく理由を教えてください。

- 卵の生産について、鳥インフルエンザや戦争の影響で燃料や飼料が輸入できないというのを見たことがある。農家や漁師の数が減っているのもあると思う。燃料費の高騰で電気代がかかり、生産にお金がかかっている。円安の影響で輸入がきつい。
- 輸入するのがきびしくなっていると思う。魚の話で言うと、ニュースで中国の船が領土に入って魚を全部取ってしまうのを見た²。日本は人口が減っているが、世界的にみると人口は増えている。そういう理由で世界的に食料不足という問題も出てきていると思う。
- 鶏小屋が燃えてしまうというニュースを見た。

○質問：日本に住む人が今後、食料に困らないようにするためには、何をしていく必要があると思いますか。

- 日本は輸入にすごく頼っていて、国内の生産はすごく少ない。輸入に頼ることによって他国で事件等が起きた際、輸入している側も困ってしまう。もし日本で小麦粉が作れればそういうことにならないが、輸入に頼ってしまうと戦争とかがあったときに困る。まずは国内で生産していくことが大事だと思う。

² 農林水産省注：現在、中国漁船は、日本の領土である EEZ（排他的経済水域）や領海等では操業できない。しかし、東シナ海の一部に設定された暫定水域等において非常に多数の中国漁船が操業しており、我が国水産資源に大きな影響を及ぼしていることが課題。

- 食料自給率を上げることはすごく大事。今の食料自給率だと外国との対立などあったときに、もし輸入できないと苦しむことになると思う。自給率をあげるのは大事だが、農業人口も減っているし高齢化もしている。今の状況だと、若者が農業に興味を持つというのもなかなか難しい環境だと思う。IT などを活用して農業の効率化を進めるのが大事だと思う。
- 若者が農業に興味を持たない。学校などで農業の勉強を積極的にして、実際に光景をみて農業がどのような感じか知ってもらうことによって上がるのかなと思う。
- 一緒に住んでいる祖父が農家で田んぼをやっている。1人で頑張っている。他の農家も家族主体でやっているのではないか。家族主体の農業だと父も会社に勤めているので、いつ廃業するかもわからないので、行政がしっかりサポートした方がいい。若手農家が廃業した人の田んぼを買い取って集団で運営するというのをよくやっている。そういう会社に対して、補助金や人の面でサポートできるとよい。

【テーマ②（農業者の人口減少）】

○質問：「農業を仕事にする」と聞いて思い浮かべるイメージがあれば教えてください。

○質問：そのイメージを持っているのはどうしてですか。思い当たることがあれば教えてください。

- 食の安全という面でとても重要な分野であるにもかかわらず、大変そう、休みがない、収入が低い。災害・天候のリスクがあるので、多くの人が避けたいと思っている職業。結果的にずっと農業をやっていた高齢者の方だけがやっているの、大変と分かっているけど抵抗がある。
- 農業をやりなさいと言われて、やろうと軽く言えない。体力が必要だし、天候の関係など難しい仕事だと思う。
- 小学生のときに田植え体験をしたことがある。2年間、田植えから稲刈りの経験をした。大変だった。たまにだし、友だちと一緒にだから楽しいが、ずっとやるのは大変だと思った。
- 自分は祖父の手伝いをする。ゴールデンウィークに田植え、9月半ばに稲刈りをする。メインでやるのは祖父で、自分が手伝うのは田植えと稲刈りくらいだが、それでも十分きつい。田植え機の運転、タイヤのあとをならす、苗箱を洗ったりしないといけない。自分の家だと毎年5～6人でやるが、結構きつい。夏の間に除草剤をまいたりするので、祖父は尚更きついのではないかなと思う。ここ2～3年は、シルバーセンターから1人お手伝いに来てもらっている。
- 祖父母が小さい畑で野菜を育てていて、遊びに行くたびに少し体験している。暑中ががんばっているが汚れたりもするので、いい印象もあるが悪い印象の方が多いかなと思う。いい印象は、自分で野菜を育てて、大きく育ったり、料理にしておい

しくなったりした時のがんばったなという達成感があること。

- 小学2年生くらいの時に農業見学に行った。今どきはあまりそのような体験をしないと思う。今どきの若者は農家でなくスマホばかりなので、みんなで行う田植え体験とかもやったらいいと思う。

○質問：農業がどんな仕事であればやってみたいと思いますか。

- 中学の修学旅行で東北地方に行った。そのときに、スイデンテラスという農業とホテルを掛け合わせたところに行った。そこではITと農業を掛け合わせた活動をしていて、有機栽培を一番の売りにして若者に農業を広める取組をしていた。ITを駆使して、今の高齢者しか持っていないような技術、例えば食べ頃や収穫時期を見極めたりする技術をITに覚えさせ、それを未来の若者たちが農業をやる際に使えるようにしていくという取組をしていた。そのように今の高齢者が持っている知識等についてITを使って引き継いでいけるシステム作りがすごくいいと思った。ITを駆使して効率的かつこれまでの伝統を受け継ぎながら、農業がもっと発展していくようになると給料も上がっていくだろうし、いいなと思った。ちゃんと農業をビジネスにしている、多分若い人たちの農業は給料が低い等という懸念の解消に向けてがんばっていたところが魅力的で少し農業は楽しそうだなと感ずることができた。
- ITと農業の組み合わせ、すごくいいと思った。農業だけをやるのに抵抗がある人もいると思う。自分のやりたい仕事をやりつつ、副業やアルバイトで農業ができるシステムに加えて給料も良ければ若者も農業をするのではないかなと思う。
- 若者は給料が少ない、面白くなさそう、という悪い印象を持っている。楽しくできるような、自分なりのやり方、自分が苦しまずにできるやり方でできるような農業。
- 面倒くさいイメージ。そのようなイメージをなくするために、効率化出来るところは効率化する。肥料や除草剤を、ドローンを使ってまくと楽になるのではないかな。もう1つは、田んぼの場所を1個に集める。田んぼはそこら中にばらまかれているので、移動にも体力使うのでまとまっているとよい。

○質問：これからは日本の農業者が減る見通しです。農業者を増やすほかに、日本で今以上に農産物を生産していくためにはどのような取組が必要だと思いますか。

- 今どきのカフェをおいて、飲みながら見学してもらう。
- 農業をするとなった時に、休みを取ることが大事だと思う。農業をすると畑に縛られてしまい休みが取れない。農業しながら旅行できたらいいと思う。農業自体を副業として、共同経営するとまとまった休みが取れるのでハードルが下がると思う。

【テーマ③（農業・食品産業の環境対応）】

○質問：あなたが最近体験した身近な出来事や見たニュースの中で「食品と環境の関わり」を感じたものはありますか。どんな出来事・ニュースだったか、教えてください。

- 魚の乱獲で魚が減っているのを聞いたことがある。実際サンマとかの漁獲量が減っていて、最近値上がりしている。
- 学校で弁当かランチ（学校で頼むお弁当）か選べる時、親が共働きの子が多いので結構みんなランチを頼む。中学生は成長期ということでランチの量が多い。友達も短時間でそのランチを食べなければいけないというので困っていて残したりしている。残してしまう場合、全部捨てなければいけないので気になっている。
- 九州の方のシジミの生産地の話で、本当は中国産なのに偽装していたという話を聞いた。漁師は割に合わないと言っていたが、だからといって中国産を国産と偽るのは良くない。
- 地元でやっているレストランだと地産地消を売りにしているものもある。輸入食品だと輸送コストがかかるので、地産地消だと環境にいいと取組だと思う。
- 消費期限が近いものを買ってもらうために、値下げして買いやすくする取組をよく見る。

○質問：その出来事やニュースのようになったのはなぜだと思いますか。思いつく理由を教えてください。

- 弁当かランチ（学校で頼むお弁当）の件では、量を少なくした「少なめ」をつくるというと思う。「大盛り」はあるけれど、残す子の方が多いので少なめを作ってほしい。
- 産地偽装は、農業関係者の給料が少ないことと関係していると思う。外国産に抵抗感を感じている人は多いと思う。国産の方が安心して高く売れるし、高く売らないと苦しい状況がある。その状況を変えないといけない。給料を抜本的に変える必要がある。外国産の方が生産コストが低いので安く売れる。国産であることによって付加価値がつき、農家さんの収入を増やしていると思うが、本当はそれはいけない。産地偽装をして高く売らなければいけない原因が、そもそもの給料の安さにあると思う。政府がそのそもそもを変えないといけない。
- 魚の乱獲については、できるだけ養殖での比率を増やしていく。魚の種類によってはむずかしいかもしれないが、近畿大学が養殖マグロをつくっている例もある。

○質問：環境に配慮した食品の中でも、どのような食品だと他の食品と比べて買いたいと感じますか。新しいアイデアでも良いので教えてください。

- 現実的にやるのは難しいと思うが、食品が入っている袋自体を食べられるように

する。

- 消費期限が近いものを値下げするだけでなく、例えば保護犬や保護ネコのための募金にもなるというようにする。
- 包装の袋を無くす。昔の豆腐屋さんの例みたいに、へいっとそのまま豆腐だけを売のような仕組みがあるといいと思う。私たちがスーパーに行ったときに、トレーに入った商品を買うのではなく、自分たちが容器を持って行ってそれに入れてもらう仕組みがあれば容器のゴミも減らせていいと思う。ただ今は包装していないと衛生環境的に悪いと言われるかもしれない。

以上

3 班（中学 2 年生、中学 2 年生、高校 3 年生／3 名）

【テーマ①（食の安全保障）】

○質問：あなたが最近体験した身近な出来事や見たニュースの中で「食料が家で食べられない、または食べにくくなるかもしれない」と不安を感じたものがありますか。

○質問：その出来事やニュースで、あなたはどう思いましたか。不安に思ったことを教えてください。

- 食について、小学校で少し習ったものの、ウクライナ戦争などがきっかけで興味を持った。日本は食料自給率が低いので輸入が止まったら困ることになる。
- アフリカでウクライナ産の小麦が入ってこなくて困っている人がある。日本も巻き込まれると食料危機に陥るのではと思う。
- 中学校の給食で、うずらのエサがウクライナから輸入できずうずらの卵がなくなり、ずっとうずらの卵が出ていない。遠い国の出来事でも日本に影響があるのだと感じた。
- 今年はさんまが少なくて食べられないと聞いた。
- 最近ではひょろ長いさんましかない、地球温暖化の影響か北に逃げていたり乱獲が影響したりしていると聞いた。日本で取れるさんまは未熟らしい。
- 牛肉は環境に悪いので、人工肉を食べるというニュースは聞いたことがある。
- 体に悪そうなので人工肉はあまり食べてみたいとは思わない。人工肉が環境に良いなら試してみようと思う。
- 大豆ミートは食べても良い。スーパーに売っている大豆ミートを美味しく食べているし、牛肉も食べる。ただ、大豆ミートは肉と完全に同じ味や食感ではない。
- 去年、給食で年 1 回興味あるものを紹介する時があり、大豆ミートをふりかけとして食べたことがあるが、美味しくなかった。
- やよい軒で大豆ミートを食べた時、食感は肉だったが、肉のうまみはない。食べたことがなかったので試したかったのと大豆がヘルシーそうだったから食べてみた。味付けが苦手だったので、別の味で食べてみたい。
- 今は昆虫食も注目されているが、いなごなどには抵抗がある。父は、はちのこなどを食べさせられていたそうである。長野県は山が多いのでイナゴを食べている人はいるが、食べたいとは思わない。

○質問：日本に住む人が今後、食料に困らないようにするためには、何をしていく必要があると思いますか

- 自給できているのがお米と野菜だけ。輸入がストップしたら、たんぱく質がとれないしさみしい。農業・畜産業に関わる人を増やしたり、自動化を進めて廃校舎・空き家で実施できたりするとよいのではないかな。そうすると、変な事件も減らせるし、

スペースの有効活用ができる。食料自給率を上げるのがよさそう。

【テーマ②（農業者の人口減少）】

○質問：あなたの周りに農業をしている人はいますか。あなた自身は農業をやってみたいと思いますか。

- 知り合いの人は趣味で野菜などを作っているけれど、販売するなどする農家はいない。

○質問：「農業を仕事にする」と聞いて思い浮かべるイメージがあれば教えてください。

○質問：そのイメージを持っているのはどうしてですか。思い当たることがあれば教えてください。

- 自分の食べ物を自分で作って食べるのは楽しそうだが、販売するまで仕事にするのは大変そう。苗を作る、天気を気にする、誰に売のかなど考えることが多くて大変そう。
- いざ売るとなると、価格設定や収穫時期を考えることや、力仕事が大変そう。
- 老後に自分のペースで作り、余ったものを売るくらいが良い。働き盛りに農家になるのは収入的に不安。天候も収入に影響がありそう。20～40代は農家にならないかも。

○質問：農業がどんな仕事であればやってみたいと思いますか。

- 誰かと一緒に出来ると楽しそう。教えてくれる人がいたり、幅広い年代の人がいたりすると始めやすそう。
- 農業と聞くと大変そうだが、AI やドローンで自動化が進んでいるので、楽しく農業がやれると良い。
- 年を取ったら自給自足の生活をするに憧れている。生まれた時から小学5年まで都会に住んでいたが、小学6年から田舎に住み始め食べ物を自分で育てることを良いなと思うようになった。

○質問：これからは日本の農業者が減る見通しです。農業者を増やすほかに、日本で今以上に農産物を生産していくためにはどのような取組が必要だと思いますか。

- 農業という仕事が漠然としすぎている。若者からすると教師や会社員に比べて何をしているのか知らないと思う。
- 農林水産省やこども家庭庁、農協などが、農業の魅力や体験談などをまとめながら楽しくわかりやすく発信してもらえると、若い人の理解が深まると思う。

- 地元新聞の若者世代向けのコーナーで、化学肥料を使わない農業の紹介があり、やりがいを書いてあった。文章ではなく、アニメなど子どもでも親しみやすい方法が良いと思う。
- 小学校の時に農家が農業について説明したり、こどもたちが実際の様子を見られたりすると興味を持つ人が増えると思う。知らないことを実際に見てわかるといいのかも。
- 本と読むのと違い、農家の話し方や表情を直接目で見ると感じ方が違うので、農家が「生き生きとしている」などイメージと違った感情を抱くことが出来ると思う。

【テーマ③（農業・食品産業の環境対応）】

○質問：あなたが最近体験した身近な出来事や見たニュースの中で「食品と環境の関わり」を感じたものはありますか。どんな出来事・ニュースだったか、教えてください。

- 親が有機野菜にこだわっているので、興味がある。
- ふだん、親が有機野菜を買う理由としては、農薬が散布され野菜にも付いているのではという心配や、農薬を食べたくないという思いがあるから。有機野菜の方が安心できるが、お店で食べる野菜に農薬が使われていてもあまり気にしない。
- 自分で食材を買うときは、有機野菜が高いから買えるか分からないけれど、出来るだけ無農薬の野菜にしたい。
- 父の知り合いが農家だが、その人は無農薬で作っておりそんなに値段も高くない。農薬は体に悪いイメージがある。
- 有機野菜は良いなと思う。前は家で有機野菜を頼んでいたが、数も少ないので購入するのも難しい。有機野菜を作っている人を応援するという意味も込めて買った方が良いと思う。
- 農園を作るために森林を切り開くというニュースを聞いたことがある。アマゾンでさとうきびやとうもろこしを燃料にしたら高く売れるので、森林破壊が進んでいると聞いた。
- ブラジルでバイオエタノールを作るために森林を切り開いていると聞いた。
- マーガリンなど、日本で買っても海外では食べられない規制があると聞き、人体に悪い食べ物があると思う。

○質問：その出来事やニュースで、あなたはどう思いましたか。また、どのようなことを意識しているようにしていますか。

- 外国に比べれば日本の農薬の規制は厳しいと聞いたので、日本の野菜はまだ安心だとは思っている。とはいえ農薬は不安なので、大人になったら有機栽培の野菜を選べれば良いと思う。日本全体にそのような意識が広まると良いと思う。

- 燃料も必要だが化石燃料も足りていないので、森林を切り開くのも仕方がないと思う。
- 森林を切り開くことは、空気・水をきれいにしてくれる循環のシステムを無くしてしまうので、良くないと思う。
- 森林は二酸化炭素を吸収して酸素を出すので、森林が多ければ地球温暖化を抑制してくれると思う。アマゾンという大きい森を破壊してしまうと、吸収できるものが減って地球温暖化が進む。極力、森林伐採せず農地を開拓できたらいいと思うが、ブラジルの国土のほとんどが森なので、伐採をしないといけないのは仕方ないのかもしれない。

○質問：環境に配慮した食品の中でも、どのような食品だと他の食品と比べて買いたいと感じますか。新しいアイデアでも良いので教えてください。

- スーパーのチョコのラベルで、フェアトレードという言葉を知った。賃金を正しく払い生産者を思いやっているイメージがある。
- チョコのパッケージにフェアトレードのマークがあるものを買うようにしている。カエルのレインフォレスト・アライアンス認証マークなど、環境に配慮した商品や生産者の利益を守る商品を知っている。夏休みの宿題で児童労働のテーマに関わることを書いたので、知っている。
- そこまで気にしていないが、なるべくフェアトレードのマークがあるものを購入している。
- 有機野菜のマークを見て購入することはある。
- 気にせずお菓子を買うが、一昨年、こども新聞で児童労働から子どもを助ける活動につながるお菓子があると知り、そのお菓子を6箱くらい買った。小6の当時、自分と同年代の人が強制的に働かされていることを記事で知り、貢献出来るならと思い購入した。売り上げの一部を寄付しているのかも。他のお菓子でも同じ取組をしている。自分が書いている学級新聞でそのことを取り上げた。
- 売上の一部を寄付する取組をしているチョコを初めて見た。洋服を1枚買うと、売上の一部を寄付するなどは見たことがある。チョコなど身近なところから寄付することが良いと思った。

以上

2023/08/03 開催 いけんひろば～若者と食の今後について考える！～
オンライン②開催回 いけんのまとめ

1 班（中学 2 年生、高校 1 年生／2 名）

【テーマ①（食の安全保障）】

○質問：あなたが最近体験した身近な出来事や見たニュースの中で「食料が家で食べられない、または食べにくくなるかもしれない」と不安を感じたものがありますか。

○質問：その出来事やニュースで、あなたはどう思いましたか。不安に思ったことを教えてください。

- 新聞で、色々な物が値上がりしていると書かれていた。去年の秋は「値上がりの秋」と言われて、食料が食べにくくなるかと思った。私はスーパーに買い物に行かないので、実際に困ったことはないが、お母さんが最近色々と高くなったと言っていた。
- 家庭科部でパフェを作ろうと思った際に、バニラアイスが見つからなかった。学校で調べたら、天候・戦争が理由で輸入ができていないと知った。戦争について考えていなくてはと思った。
- ものの値上がりは、戦闘などの影響で仕方がないと思うところもあるが、値段が抑えられたら良いと思う。

○質問：その出来事やニュースのようになったのはなぜだと思いますか。思いつく理由を教えてください。

○質問：日本に住む人が今後、食料に困らないようにするためには、何をしていく必要があると思いますか。

- バニラアイスについて、日本国内で原材料が生産できていないせいで食べられなくなったのであれば、日本国内でも生産できるようにすれば良いのではないかと考えた。
- 日本国内で生産していくことも大切だと思うため、農業者の人口減少を抑える必要があると思った。
- 値上がりに関しては、その食べ物が貴重なものになっているから値上がっていると思うため、その食べ物を増やすためにはどうすれば良いのか考える必要があると思った。
- 値上がりに関して、たくさん生産すれば、値段が安くなるという案は良いと思うため、具体的にどうすればたくさん生産できるのかを考えたい。

【テーマ②（農業者の人口減少）】

○質問：あなたの周りに農業をやっている人はいますか。

あなた自身は農業をやってみたいと思いますか。

○質問：「農業を仕事にする」と聞いて思い浮かべるイメージがあれば教えてください。

ださい。

○質問：そのイメージを持っているのはどうしてですか。思い当たることがあれば教えてください。

- 私自身は、農業に大変そうなイメージがあるため、あまりやりたくない。普通に会社で働いていると土日が休みだったりするが、農業では毎日仕事をし、休みがないイメージである。休みがある仕事をしたいし、炎天下の中で仕事するのは大変だと思うため、農業はやりたくない。農家の減少を抑えるためには、このような状況を改善する必要があると思う。AI を使ったりすることも増えていると思うが、それでもまだ、収穫など、人が行う必要がある作業も多いため、人が行わないといけな作業も楽にできる方法があれば良いと思った。それでも多く作るとはやはり大変だと思う。
- おばあちゃんが農家の人は周りにいる。もともとは食べ物だけ生産していたが、それだけでは生活が回らないため、花の生産も始めた人もいると聞いた。複数の食べ物や植物を育てないと、農家として暮らすのは難しいのだと思った。
- 農業には大変そうなイメージがある。歴史漫画で、米を収穫する時期に害虫が発生し、結局収穫できず赤字だったということを読んだことがあり、難しそうだった。
- 私の身近には、農業をやっている人はいない。

○質問：農業がどんな仕事であればやってみたいと思いますか。

- 最先端の技術を活用していれば楽しそうだと思う。体験はしてみたいけど、実際に仕事にするにはどうかなと思う。
- 日本は国土が大きいので、できることは限られているのかもしれないが、農家を増やすためにできることはたくさんあるのだなと思った。
- 若い人が農業に関わるのも大事だし、農業には人がたくさん必要になると思うため、人集めの難しさも解決していかななくてはいけないと思った。
- 家族経営で農家をするより、会社に入って農業をする方が色々安心だなと思った。
- 農業の会社はすごく良いと思うが、自分が入るかと言われたら微妙な感じ。休みが普通の会社と比べてどれくらい取れるのか気になる。普通の会社と同じ休みなら、良いかなと思う。具合が悪い時に、休めたらいいと思う。

【テーマ③（農業・食品産業の環境対応）】

○質問：あなたが最近体験した身近な出来事や見たニュースの中で「食品と環境の関わり」を感じたものはありますか。どんな出来事・ニュースだったか、教えてください。

- 最近、コンビニで「食べられるストロー」が出てきたらしく、コンビニでもプラス

チックなどを無くす取組がされているのだと思った。

- 結構前からコンビニで、「てまえどり」と書かれた鳥のポスターをよく見かける。

○質問：その出来事やニュースで、あなたはどう思いましたか。また、どのようなことを意識しているようにしていますか。

- 「てまえどり」のポスターがあったときは手前どりをしようと思えた。
- 最近「てまえどり」のポスターが変わってご当地のバージョンが出ていたので、人を惹き付ける工夫があると思った。
- 食べられるストローを見た時に、良いと思ったが、食べられるストローはクッキーで出来ており、プラスチックに包まれていたので、結局環境によいのか、どうなのだろうと思った。

○質問：環境に配慮した食品の中でも、どのような食品だと他の食品と比べて買いたいと感じますか。新しいアイデアでも良いので教えてください。

- 環境対策がされている商品が増えていてすごく良いと思うが、全体的に値段が高くなってしまうと、逆に買いにくくなることもあるため、今ぐらいのフェアトレードの商品の量でちょうど良いと思う。ただ、値段が上がらないならば、そういった商品が増えた方が良いと思う。
- フェアトレードのチョコレートをスーパーで見かけたことがあるが、手に取るまでフェアトレード商品だと分からなかったので、もっとマークを大きく書いておいてもらえたら良いと思う。
- 今、ストローやスプーンが環境に配慮されて使い捨てではなくなってきた。同じように、料理にかぶせるラップも使い捨てにしないようにできるのではないかと思う。授業で習ったミツロウのラップのようなものがもっと普及したらよいと思う。
- 社会の授業で学んだことだが、どこかの国では、デポジット制で、例えば 200 円で飲み物を買って、その容器をお店に返却したら、100 円返ってくるという制度があるらしい。そういうのが日本にもあればと思った。

○その他の意見

- 牛のげっぷは温室効果ガスになっていると聞いたことがある。
- 牛がげっぷをすることは仕方がないため、例えば牧場の周りを木で囲んだら、少しはげっぷのガスが吸収されるのかなと思った。
- 肥料を使わない農業とかが増えているので、そういった農業を増やしていった方が良いと思った。
- 日本で有機食品は売れていそうだと思っていたけれども、意外と売れていないことを聞いて驚いた。私の自宅では、有機食品を結構食べることがある。

- 有機食品が売れていないのは、有機食品の方が価格が高いからだと思う。
- 食品全般、なんでも値上がりしているので、それを直したい。例えば、うまい棒も10円で安いことが売りだったのに、今値上がりしているため、少しさみしいと思う。
- もちろんモノはいつでも安い方が良いけど、お給料が上がった結果、自動的に値段が上がるのは仕方がないと思う。
- 田舎だと食品を買いづらいと思われがちだけど、今はネットスーパーなどがあり、結構買える時代になっている。その代わり、輸送代がかかるようになってくるため、食材自体の値段を安くすることも大事だと思う。
- 地球温暖化が進んだら、今食べている食べ物が食べられなくなると聞いたことがあり、さみしいし怖いと思った。環境問題は全部つながっていると思った。具体的には知らないが、温暖化が進むと海の温度が上がるので、寒いところでとれる魚などが食べられなくなるらしい。

以上

2 班（中学 1 年生、高校 1 年生、高校 2 年生、高校 3 年生／4 名）

【テーマ①（食の安全保障）】

○質問：あなたが最近体験した身近な出来事や見たニュースの中で「食料が家で食べられない、または食べにくくなるかもしれない」と不安を感じたものはありますか。

○質問：出来事やニュースで、あなたはどう思いましたか。不安に思ったことを教えてください。

- 最近スーパーでパンが値上がりして、ぱっと買えなくなった。
- 家庭菜園できゅうりを育てている。今年は猛暑の影響でほとんど育たずに枯れてしまった。
- 卵が小さくなって、さらに値上がりもした。
- 最近卵の値段がめっちゃ上がっているなと思った。
- 卵が高くなると、店でお菓子・パンケーキが食べられなくなるので、とても大変で不安。

○質問：その出来事やニュースのようになったのはなぜだと思いますか。思いつく理由を教えてください。

- 最近ガソリンも値段が上がっている。輸送費にお金がかかっているのも、その分値段が上がっているのだと思う。
- 原材料が値上がっているのも、製品の値段が上がっている。円安の影響も。原材料は海外からきているものもあるだろうし、異常気象等であまり育たないというのがあるのかなと思った。
- 地球温暖化の影響で作物の量が減って値段が上がった。
- 家庭菜園の件で、私はミニトマトを育てている。今年は雨が少なく、水やりをしてもすぐ枯れてしまう。梅雨の時期もあまり降っていなかった。

○質問：日本に住む人が今後、食料に困らないようにするためには、何をしていく必要があると思いますか。

- 困らずに食料にアクセスするだけであれば、悪い形のものまで渡すようにすれば私たちに届く量はあるのかなと思う。
- コンビニ等で期限が過ぎたものは処分すると聞いたので、1 時間くらい賞味期限が切れたものでも店に置いておけば少しは違うと思う。
- 最近小麦も値上がりしている。海外で育てているものを日本でも作れば輸送コストが減ると思う。大豆とかも。醤油の原材料を見ると海外製だったりする。
- 地球温暖化だと省エネ、エアコンの設定温度を変えるとか、そういうちょっとした取組がつながっていくと思う。

○その他：日本で生産していない食料はどうして日本でつukれないのか。日本で作るためのアイデアはあるか。

- 人件費や土地の値段が安いので、海外で作った方が得だからだと思う。

【テーマ②（農業者の人口減少）】

○質問：あなたの周りに農業をしている人はいますか。あなた自身は農業をやってみたいと思いますか。

○質問：「農業を仕事にする」と聞いて思い浮かべるイメージがあれば教えてください。

- ビニールハウス等、最新のテクノロジーを使ってがんばってつくってくださっているイメージ。
- 田舎というイメージ。
- お年寄りの方がやっているイメージ。
- 自然災害によって不作になったりすると、給料が入ってこないイメージ。
- 毎日水やりとか、365 日ずっと働いて休みがないイメージ。
- 私は祖父が畑をしているので、その手伝いをしている。朝早いし、毎日水やりとかしていて大変そうだと思う。イチゴを育てているが、好きなだけ食べられるのがいい。
- 私は小学生のときに田植え体験をした。同じ体勢できつかった。

○質問：そのイメージを持っているのはどうしてですか。思い当たることがあれば教えてください。

- 高速道路から窓の外をみると、田んぼとか広がっているイメージ。
- 台風や洪水で畑が水浸しになることによって、今までの努力が台無し。それで売るのが無くなって、お金が入らなくなる。

○質問：農業がどんな仕事であればやってみたいと思いますか。

- 畑に使う機械や土地がほぼ無限にあって、お金もたくさん入ってきて、マイハウスを建てられるみたいな感じが理想。
- 建物の中で育てられて、スマホでも管理できる。手元で色んなことができる。水やりや生育状況の確認、肥料をスマホでポチっとしてまくとかができるといい。
- 洪水、台風で台無しになる場合、そういう時に保険があれば気持ち的にも楽だと思う。
- 農業をはじめるとにもお金がかかる。機械、ハウスとかがもう少し安く手に入るなど安定した収入があればいいと思う。

○その他：どうしたら農業をする若者が増えるでしょうか。

- 都市農業みたいな感じで都市でつくれば輸送費もかからない。植物工場が普及したら効率よく作れると思う。
- 農業への入口がせまい。やり始めにくい。農業をやりたい人と今農業をやっている人をつなげる場所が必要だと思う。収穫時期や商品として売るためにどうすればいいのか等をストレスなく会話できる場所があったらいい。都会でもそういう場所があればいいし、田舎で都会の人を呼んで実際にみせるのもありだと思う。
- どれくらいで収穫できるか自動でわかるアプリがあれば、初心者でも分かりやすくていい。
- 作物の育て方、収穫時期が全然違ったりするので、高齢者など経験がある人に教えてもらえる場所があるといいと思う。

○その他：どうしたら農業者の休みがつかれるでしょうか。

- 1 日バイトをやとったり、会社のようにやったら休みが全員で回せていいと思う。
- 農業関係者の有給制度をつくると、安心して休めると思う。
- 個人ではなく、何人かのグループみんなで農業をやると作業量も減ると思う。
- グループでやったら休みが作れるし、機械もシェアできていい。
- 農業に興味がある人と経験がある人が何回か一緒にやって農業をやってみて、回数をだんだん減らしていく。興味があればそのまま続けて、興味が無かったらそのままやめる。そうしたら農業に興味を持つ人が増えると思う。

【テーマ③（農業・食品産業の環境対応）】

○質問：あなたが最近体験した身近な出来事や見たニュースの中で「食品と環境の関わり」を感じたものはありますか。どんな出来事・ニュースだったか、教えてください。

- スーパーで季節・行事ごとのその日しか食べない食品を完全予約制にして、売れ残りがないようにした取組はいいと思った。
- 私はこども食堂にボランティアに行っている。自由に来るようにしたら食べ残しが出てしまうので、予約制にした。
- ローソンで期限が切れてすぐのものを瞬間冷凍にして、こども食堂に届けているというニュースを見た。そういうのが増えていったらいいと思った。
- スタバでクリスマスにフラペチーノを飲んだ時、ストローがクッキーでできていた。捨てずに食べられるストローでいいなと思った。
- ビニール袋を減らす活動は政府の方でしていると思うが、お肉が入っているパックのビニール等は減らせればいいと思った。

○質問：その出来事やニュースで、あなたはどう思いましたか。また、どのようなことを意識しているようにしていますか。

- 無農薬、無添加は結構気にしたりする。近くのスーパーにはあまり売っていないので、ネットで買う。
- 母が買い物する時もそうだが、無農薬、肉であれば国産を買う。無農薬がいいとわかっているが、高いから買わないという人も多いと思う。
- お母さんができるだけ国産のものを買おうとしている。裏の原材料を見て、添加物は入っていないとは結構言っている。
- 親が気にしている。近くのスーパーに地元の人がつくったものを売っている店があるので、そこでよく買っている。
- フェアトレード商品は学校の授業でよく学ぶが、実際にはあまり見たことはない。国産とかは見ると。
- フェアトレード商品は、スーパーとかではなかなか見ないが、カルディとか輸入品を取り扱っている店ではみる。買いたいけど身近にないことが多い。
- フェアトレードは聞いたことがあるが、商品を実際にあまり見かけたことはない。買ったこともあまりないと思う。
- フェアトレードは聞いたことがない。

○質問：環境に配慮した食品の中でも、どのような食品だと他の食品と比べて買いたいと感じますか。新しいアイデアでも良いので教えてください。

- 新しいブランドみたいな感じで価値をつける。環境に配慮シリーズ的な。例えば、有機栽培とかブランド化できると思う。
- 買うかどうかは人によるが、安全性の問題もあるが、遺伝子組み換えとかゲノムとか、肉厚にできるという話を聞いたことがある。そういうのが安全に開発できるといいと思う。
- 環境にいい商品にマークがついているが、あまりマークを具体的に知らない。これを買ったらどう環境問題に貢献するのかを具体的に知ることができれば、意識して買えるようになると思う。商品の近くに、簡単に分かりやすく書いてあればいいのかもしれない。
- 有機栽培をどんな風に育てているのか、と疑問に思っている人もいると思う。どうやって育てているかを、実際に現地に行くことや、オンラインなどで知ることができるプログラムがあれば、もっとみんな安心して買えると思う。
- 有機栽培のものは高いので、学生などはあまり手を出せないと思う。買ったポイントをもらえるシステムにすると買おうかなという気になると思う。
- 個包装パッケージはほとんどプラスチックなので、紙とプラスチックを1対1く

らいにすると環境にいいのではないかと思う。

- レジ袋持参みたいにタッパー持参にする。食中毒問題もあるが、タッパーを持ってきたら 10 円割引にするとか。ただ、食中毒になった時にどっちが悪いかみたいな話にはなるかもしれない。
- 包装紙の回収ボックスをつくと、環境にも優しいし環境への意識も高まると思う。
- 衛生的にも袋を減らすのは難しいと思うので、リサイクルできるような材料を使って、リサイクルしようという気持ちもセットでやる。

以上

3 班（中学 1 年生、高校 1 年生、高校 1 年生、高校 2 年生／4 名）

【テーマ①（食の安全保障）】

○質問：あなたが最近体験した身近な出来事や見たニュースの中で「食料が家で食べられない、または食べにくくなるかもしれない」と不安を感じたものはありますか。

- 5 年前ならさんまやうなぎの値段高騰の話題が多かったが、最近は野菜・卵まで値段が上がっているので不安になる。
- 食料の高騰が身近な出来事と感じている。身近なものまで価格が高騰していることは知らなかった。
- ウクライナの戦争などは自分達とは関係ないと思っていても、急に世界で小麦が高騰していることは問題だと思っている。

○質問：その出来事やニュースで、あなたはどう思いましたか。不安に思ったことを教えてください。

- 買いづらいと食べる機会が減っていくので、もやしなどが将来的に食べ続けられるのか不安。
- 小麦は色々な料理に使われるので、小麦がなくなり様々な料理が作られなくなるのは困る。
- 今まで小麦粉など買えていたものが買えなくなったり、今まで買えにくいものももっと買えなくなったりするのは不安。

○質問：その出来事やニュースのようになったのはなぜだと思いますか。思いつく理由を教えてください。

- 前までは干ばつなど環境が問題だったが、今は国同士の争いが理由になっていると思う。戦争や輸入規制などが理由にある。
- 推測になるが、人権や環境に配慮している分、今まで安く作られていたものが段々高くなっていることが理由にあると思う。
- ここ 3 年のコロナで生産者側が亡くなるなど作り手が減っている。

○質問：日本に住む人が今後、食料に困らないようにするためには、何をしていく必要があると思いますか。

- 戦争で食料が止まっているが、戦争が解決しても食料の問題は解決しない。戦争と食料の問題は別々にすべきだと思う。例えば、ロシアは一方的に輸出しないと言っているが、世界と喧嘩していたとしても小麦はみんなが必要としているので、戦争とは別に考えた方が良い。
- 日本が自ら率先して中立の立場に立って、食料の問題を解決する方に向かうのが

良い。食料を別問題で考えることを持ち掛ける役割を日本がすると良い。

- 戦争などの影響を受けた世界の農業の流通が元通りになるのに時間がかかる間に、日本が食料の自給率を上げて、輸出を増やすのが大事。
- 食料を作る際、日本は天候に左右されやすいので、自給率を上げるために天候に左右されない、食料を作りやすい建物を造るのが良いと思う。
- 建物というアイデアが良いと思う。建物だったら縦にも場所を使える。日本の農地は少ないので、建物にしたら縦に何階層も作れるので効率的に作れそう。
- 現在は日本に食料を輸出してもらうメリットを海外に提示できていない。
- 色々な国が率先して自給自足を進めていかないと、何か起きた時に困るから日本も自給率を上げるべき。
- 自給率を上げるため、地産地消など地元の食品や文化を大事にすると良い。私の地元では野菜が特産品となっている。

○その他：コロナで変化した給食について

- 小学校では班で給食を食べるけれど、前を向いて黙食となっている。最近は弁当をみんなで食べている。
- 今まででは中庭でお昼を食べられていたのが、1年くらいは教室だけになっていた。

【テーマ②（農業者の人口減少）】

○質問：あなたの周りに農業をしている人はいますか。あなた自身は農業をやってみたいと思いますか。

○質問：「農業を仕事にする」と聞いて思い浮かべるイメージがあれば教えてください。

- 祖母が農家である。給料が安くて肉体労働というマイナスイメージがあるので自分は農家になりたくない。祖母を見ていると楽しそうだけれど虫が嫌い。
- 農業体験などは楽しそうだと思う。いちごのビニールハウスは虫もいないので、良さそう。
- 叔父さんの実家が農家で、帰省した時に野菜をもらう。農家との関わりはあまりないのだが、天候に合わせて働くので休みがなく、暑いので体力的に厳しいイメージなのであまりやりたくない。家庭菜園は楽しそうだと思う。
- 父の実家が農家で、父が子どもの時にお米の出荷をやっていたと聞いて大変そうと思い、あまりやりたくないと思っていた。母方の祖母が家庭菜園で作っていてその規模ならやってみたい。
- 祖父が趣味でやっているが、農家になりたいとまでは思っていない。大根は抜いたときに達成感があるので家庭菜園ならやってみたい。
- 祖母の住んでいるあたりはお米が有名なので、送ってもらう。

- 祖母が農家なので、野菜やお米はもらっている。

○質問：イメージを持っているのはどうしてですか。思い当たることがあれば教えてください。

- 農家と聞くと、腰を曲げて日差しを避ける格好で高齢者がやるイメージがある。高齢者でも暑い中で働くなどのイメージがある。
- 同じく、教科書に載っているようにおじいさんがやっているイメージ。
- きつい思いをして育てないといけないと思う。
- 父のイメージやテレビで聞いたことから、根から作るのが大変だと思う。隣の農家が重いものを引っ張っている姿をみて大変そうと思っている。

○質問：農業がどんな仕事であればやってみたいと思いますか。

- 体力を使う分のお金がもらえるなら、やっても良いかなと思う。犠牲にする部分が大きいののでやりたくない。休みがない、暑い、疲れるといった肉体労働が必要な部分に、犠牲が必要ないように感じる。
- 若い人が農業に従事することが出来れば興味が出てくるかもしれない。高齢者がいなくなったら、自分たちが耕すことになり負担になる。農業従事者全体が増えればやりたいと思うかもしれない。
- 先程の建物を活用するアイデアや、苗を植える・水の状態を確認する・収穫するという作業がデジタル化されて定点カメラで確認できて毎日通う必要がなければやってみたい。
- 同じく、機械を使って少し楽になったら若い人もやりたいと思うかもしれない。機械化されたら自分も少しやってみたい。
- どうやったらより効率的に作物がとれるかを分析するなどの関わり方も良いと思う。経営の立場から関わるのも良いと思う。

○質問：農業者を増やすほかに日本で今以上に農産物を生産していくにはどのようなしたらよいでしょうか。

- 学童やこども食堂のように、こどもが放課後や週末に集まる農園を経営するのはどうか。こども食堂用やこどもが持ち帰る用でもいいし、「〇〇のこどもたちがつくりました」というシールをつけてスーパーに並べるのも良いと思う。
- 小学校・中学校などの社会や家庭科の授業で農業の楽しさを伝えれば、従事者が増えると思う。
- 授業で育てたお花のように、簡単に作れるものを作ってみることが良いと思う。
- 以前学校では畑の授業があったそうで、何故減ったのか不明だが今は減ってきているので、復活すると興味を持つ人が増えて良いと思う。

- 大人が参加する方法としては、長期インターンのように半年や一年間の期間限定でも会社の人でローテーションで農園を運営すると良いと思う。
- 会社のビルに家庭菜園の場所をつくるなど、大人でも農業体験するのが良いと思う。

【テーマ③（農業・食品産業の環境対応）】

○質問：あなたが最近体験した身近な出来事や見たニュースの中で「食品と環境の関わり」を感じたものはありますか。どんな出来事・ニュースだったか、教えてください。

- 農薬をたくさん使っていると、土の中の微生物が死んで育たないと聞いたことがある。
- プラスチックの削減として、熱で留めているパッケージが増えていて、今までのパッケージが無駄だったと思った。
- 小学校で環境に配慮した水産物があると知り、いいなと思った。
- 福井のカニについて、取りすぎて昔と比べて取れなくなってしまったので、カニを取る時期などが制限されているのをニュースで見た。ちょうどいいバランスを保たないといけないと思った。

○質問：その出来事やニュースで、あなたはどう思いましたか。また、どのようなことを意識しているようにしていますか。

- 環境に配慮したマークがあるのを資料で知ったが、私生活で見たことなかったのので周知していく必要があると思う。
- 食料の問題などは自分に直接は関係ないと思い、知ろうとしていなかった。
- 食品と環境に関する取組を知らないの、これから知って、買うなどの行動になげたい。
- 今までは考えてこなかったけど、今から環境を大切にしないといけないので、色々なことを意識していかないといけない。

○質問：その出来事やニュースのようになったのはなぜだと思いますか。思いつく理由を教えてください。

- 時間がたてば元の状況に戻るだろうという意識で、度を過ぎた活動を続けてきた今までのしわ寄せが理由だと思う。
- 今までは利益を優先して、より美味しそうに見えるように農薬を使うなど環境のことを忘れていたので、知らない間に環境を悪化させてきたと思う。
- 農薬のおかげで虫食いのないにんじん、虫食いもあるけれど無農薬のにんじんが同じ値段だったら、外見が綺麗な方を選んでしまうかもしれない。

- 食べ物を選ぶ時の基準として農薬の有無を考慮しないので、値段が同じなら綺麗な方を選んでしまうかもしれない。
- 同じ値段なら綺麗な方を選ぶかもしれないが、道の駅などで新鮮なものであれば、虫食いの方を買うかもしれない。
- 道の駅だと取れたてっぽいのを選びたくなるので、私も虫食いの方を買うかもしれない。
- 私は綺麗な方を選ぶ。
- 水産業について、コロナの影響で健康ブームが広がり、魚の需要が高まり水産業で人間の取る量が増えたことが理由にあると思う。
- 先ほどの福井のカニを取りすぎたということについては、旅行で人気のご当地の名産品だから乱獲されたのだと思う。

○質問：環境に配慮した食品の中でも、どのような食品だと他の食品と比べて買いたいと感じますか。新しいアイデアでも良いので教えてください。

- 環境とは別だが、自分が食品を買うときはおいしさが一番大事で、カロリーや栄養素などの記載があれば買いたいと思う。
- 新鮮さと安心して食べられることが大事。食品添加物がなく、安心して食べられるものが良い。
- パッケージに環境に配慮していることが明記されていれば、環境に役立っている実感を持てるので、買いたいと思う。
- 育成過程を記録しているお肉があり、野菜でもできると良い。
- 授業で野菜の成長過程を知る機会はない。お米の作り方は授業で学ぶ。
- シャンプーの詰め替えをお店でやると良いと聞いたけれど、実際にお店でやっているものは見たことないので、実現してほしい。食であれば、お肉・お刺身など生ものを持っていった容器に入れてもらうのは良いと思う。

○その他：明日からやってみたいこと

- 簡単に作れる料理が SNS で取り上げられているので、地元の野菜を買って作ってみたいと思う。
- 学校で無農薬の方が良いことを知っても、値段が高くて買えないこともある。そこを改善したい。

【その他、いけんひろば後のアンケートで参加者から寄せられた追加意見】

- 農業に小さな区画だけ畑を貸し出す制度があれば面白いと思った。
- 都市農業でビルの屋上を使ったらいいと思う。

以上